

県政参画電子アンケート（案）について

調 査 テ ー マ	介護保険制度と介護保険料負担等に関する意識調査
調 査 の 必 要 性	<p>介護保険制度は、急激な高齢化の進展を見据え、主に家庭で担っていた介護を社会全体で支えるため、平成12年に創設された。</p> <p>平成30年度～令和2年度は、介護保険に要する費用の27%を40～64歳の方が、23%を65歳以上の方が負担している。（残り50%は国税等の公費負担）</p> <p>団塊世代の方々が75歳となる2025年、90歳となる2040年に向けて県民の皆さんの介護保険料負担もさらに増加する見通しです。</p> <p>以上の状況を踏まえ、県民の意識を把握するためにアンケートを行うものです。</p>
調 査 の 主 な 内 容 (質問項目と選択肢)	<p>(1) 高齢者介護経験（業務経験含む。）の有無</p> <p>(2) 介護サービスの水準と介護保険料の負担について</p> <p>(3) 介護が必要となったときに望む暮らし</p> <p>(4) 介護ボランティアへの参加について</p> <p>(5) 介護の仕事へのイメージ</p>

<質問項目（案）>

1 高齢者介護経験（業務での経験を含む）の有無

- ①ある
- ②自分自身には介護の経験がないが、家族親戚等に介護の経験（業務での経験も含む。）がある
- ③ない

2 介護サービスの水準と介護保険料の負担について

(2-1) あなたの考え方に一番近いものにチェックをお願いします。

- ①介護保険料負担が大幅に増加（約2倍）してもいいので、介護サービスの水準を高めていくべき
- ②介護保険料負担がある程度増加（約1.5倍）してもいいので、現状程度の介護サービスの水準を確保すべき
- ③介護保険料負担は現在と同程度がよい。この場合、介護を必要とする高齢者は増加していくことから介護サービスの水準は低下するが、やむを得ない。
- ④介護保険料は今でも高すぎるので、もっと安い方がよい。この場合、介護を必要とする高齢者は増加していくことから、介護サービスの水準はかなり低下するが、やむを得ない。

(2-2) 今後、特に必要となるサービスは何だと思えますか（複数回答可）

- ①ボランティア（助け合い）
- ②訪問サービス（自宅でサービスを受ける）
- ③通所サービス（日中等、介護事業所に通ってサービスを受ける）
- ④施設サービス（介護施設に入所してサービスを受ける）

⑤高齢者の交流（高齢者や家族、住民などの交流の場のサロン・カフェ）

⑥特になし

3 あなたが高齢者になり、介護が必要になったとき、どのような暮らしを望みますか。
あなたの考え方に一番近いものにチェックをお願いします。

（3-1）あなたがご家族と同居していると想定してお答えください。

①主に家族の介護を受けて、自宅で暮らす

②介護サービスを利用し、自宅で暮らす

③本当は自宅で暮らしたいが、家族の介護負担も考慮し、介護施設で暮らす

④介護施設の方が安心して暮らせるので、介護施設で暮らす

（3-2）あなたが一人暮らしであると想定してお答えください。

①地域やボランティアの支援（介護）を受け自宅で暮らす

②介護サービスを利用して自宅で暮らす

③一人暮らしは不安なので介護施設で暮らす

（3-3）あなたが人生最期を迎えたいと考える場所をお答えください。

①病院・診療所等の医療機関

②自宅（家族・兄弟の家も含む。）

③介護施設

④その他（

⑤わからない

4 介護等ボランティアへの参加について

あなたは、高齢者宅のゴミ出しや見守りなどのボランティアに参加したいと思いませんか

①積極的に参加してみたい

②少しなら参加してみたい

③あまり参加したくない

5 介護の仕事について、あなたのイメージをお聞かせください

①社会的な意義

（・ある ・ややある ・あまりない ・ない）

②やりがい

（・ある ・ややある ・あまりない ・ない）

③仕事の内容

（・きつい ・ややきつい ・どちらかと言えば楽 ・楽そう）

④給与・収入

・適正な給与が得られている

・どちらかと言えば適正な給与が得られている

・どちらかと言えば適正な給与が得られない（やや少ない）

・適正な給与が得られない（少ない）

このほか、介護の仕事について感じる事があれば以下にご記入ください。

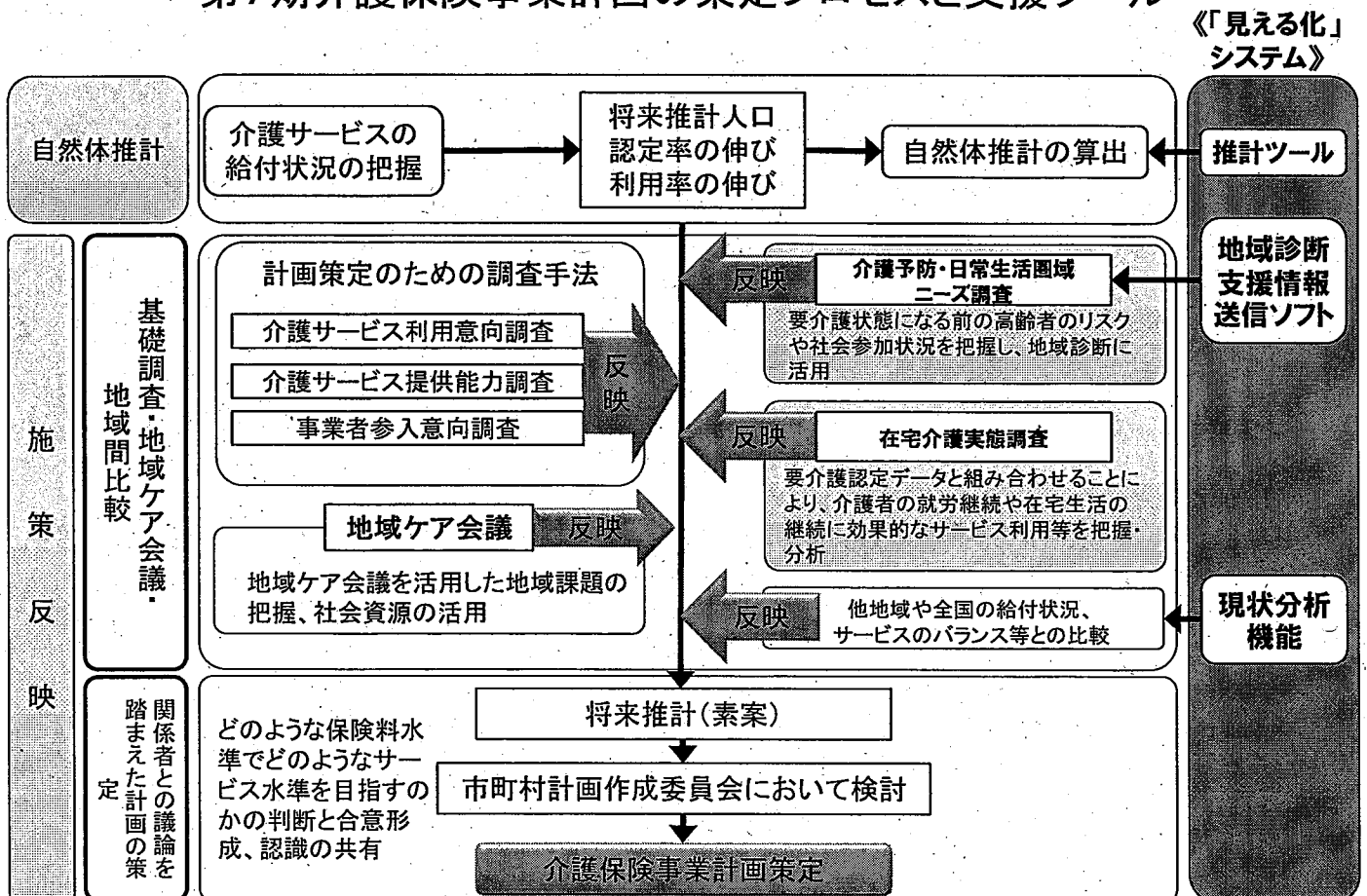
（

鳥取県の高齢化の現状と将来推計

令和2年7月9日

鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局長寿社会課

第7期介護保険事業計画の策定プロセスと支援ツール



目次

- 1 鳥取県の高齢化の現状と将来推計
- 2 鳥取県の介護保険制度の現状

2

1 鳥取県の高齢化の現状と将来推計

鳥取県の高齢化①(1975→2045)

【今後の高齢化や人口等の状況】

- 本県の人口は、平成27年(2015年)10月1日現在で57.3万人。(全国最少)
- 人口減少は続いており、国立社会保障・人口問題研究所の推計(平成30年3月公表)によると、2025年に53.7万人、2045年に44.9万人まで減少。
- 一方、高齢者数は、平成27年10月1日現在の16.9万人から、2025年に18.2万人へ増加する見込み。特に75歳以上の高齢者は平成27年10月1日現在の9.0万人から、2025年に約10.6万人となり、10年間で約12%増加。

■鳥取県の人口と高齢化率等の推移

①これまで

区分	1975年	1985年	1995年	2005年	2015年
総人口	581,311	616,024	614,929	607,012	573,441
65歳以上	64,720	84,609	118,380	146,113	169,092
75歳以上	22,911	33,597	48,353	75,084	89,799
高齢化率	11.1%	13.7%	19.3%	24.1%	29.5%
75歳以上人口比率	3.9%	5.5%	7.9%	12.4%	15.7%

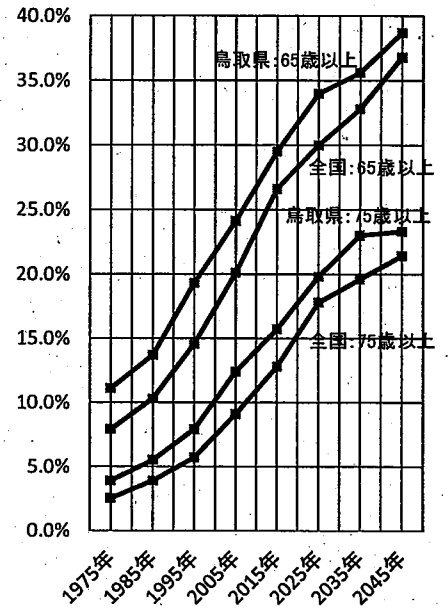
出典：国勢調査

②今後

区分	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
総人口	556,367	536,747	516,255	494,893	472,156	448,529
65歳以上	180,311	182,493	180,269	176,259	176,764	173,569
75歳以上	94,807	106,456	113,181	113,651	109,839	104,612
高齢化率	32.4%	34.0%	34.9%	35.6%	37.4%	38.7%
75歳以上人口比率	17.0%	19.8%	21.9%	23.0%	23.3%	23.3%

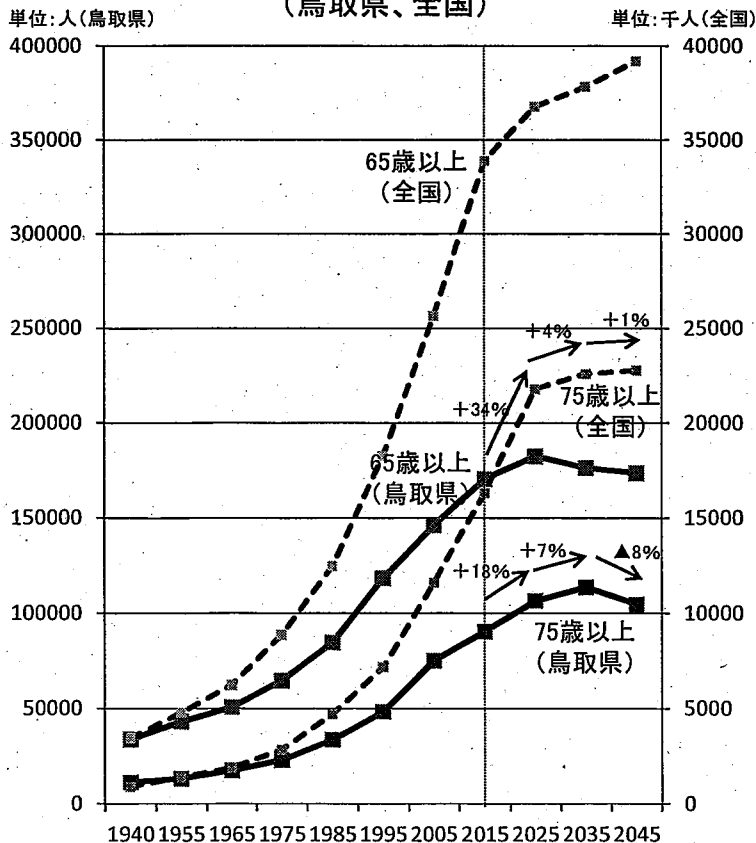
出典：国立社会保障・人口問題研究所(H30.3)

高齢化率の推移(推計)

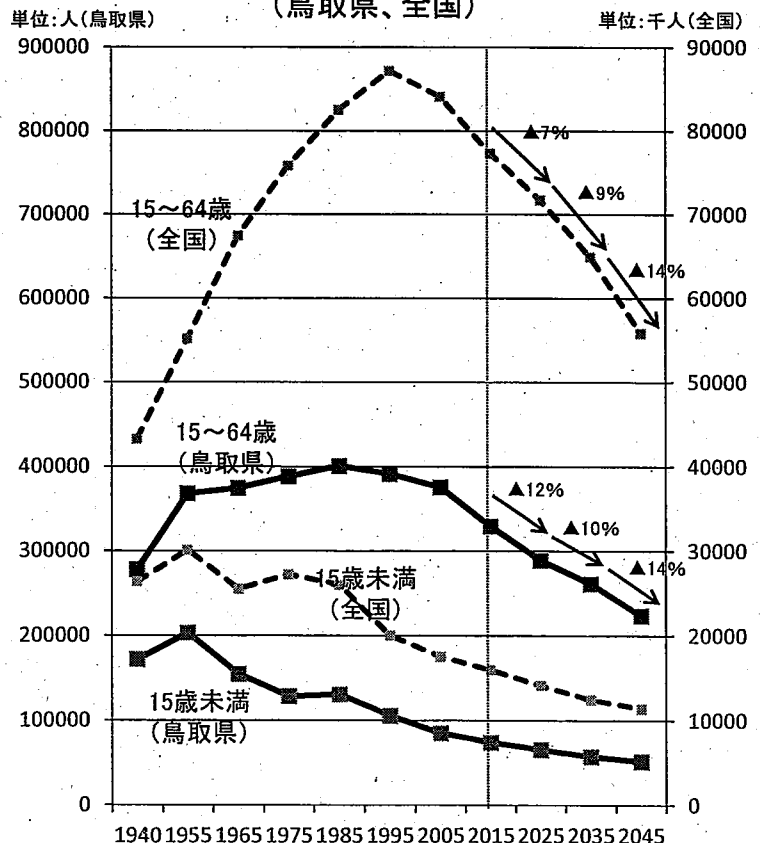


鳥取県の高齢化②(1940→2045)

65歳以上人口、75歳以上人口の推計 (鳥取県、全国)

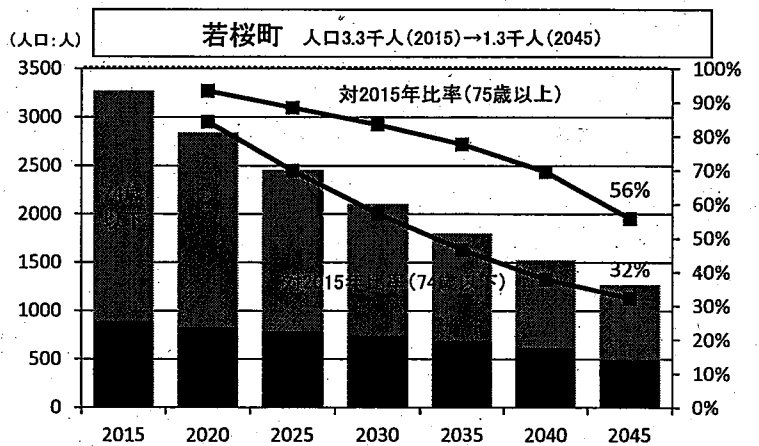
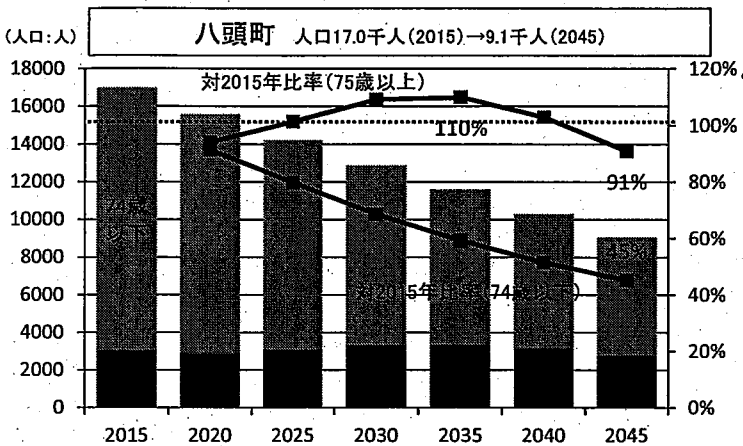
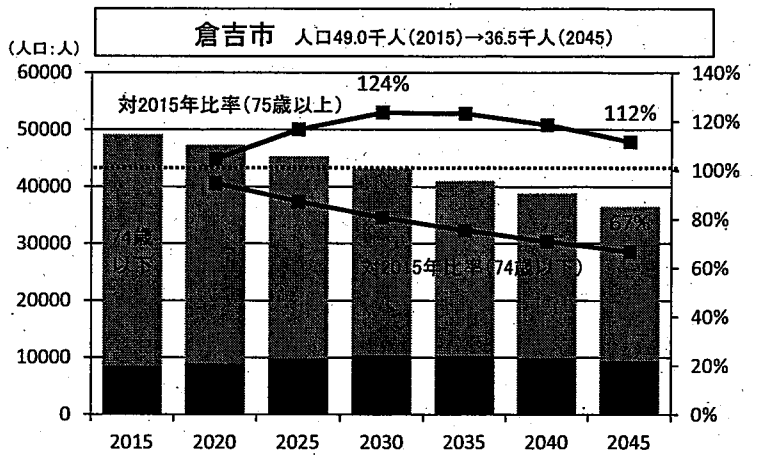
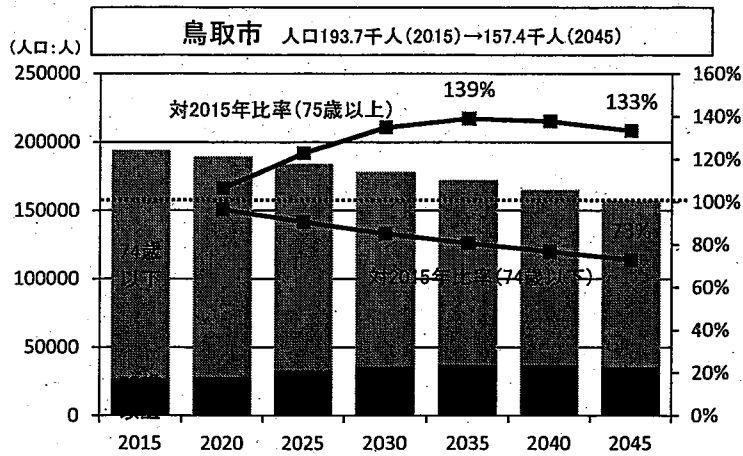


15歳未満人口、15~64歳以上人口の推計 (鳥取県、全国)



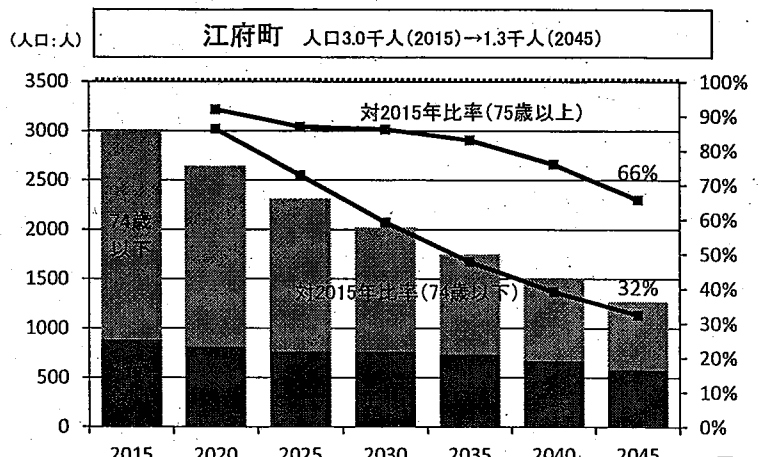
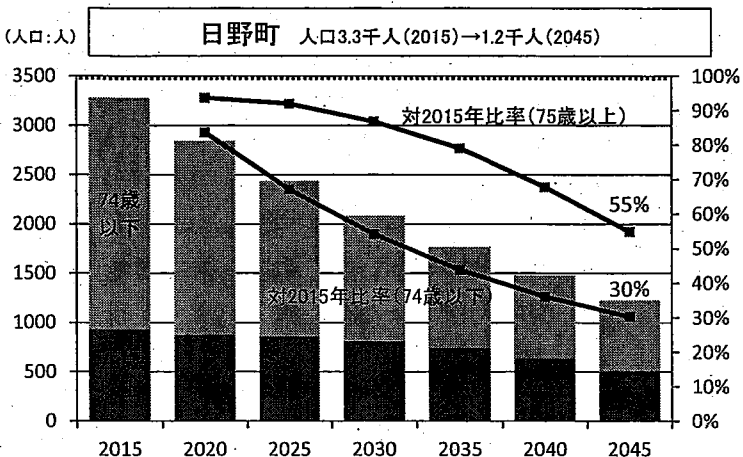
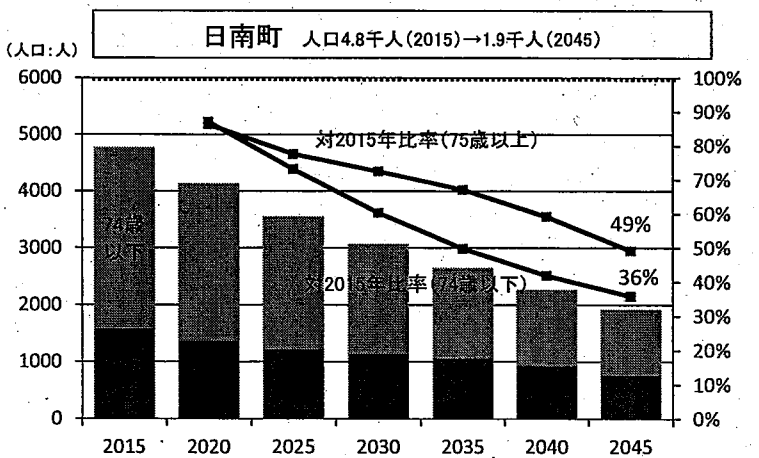
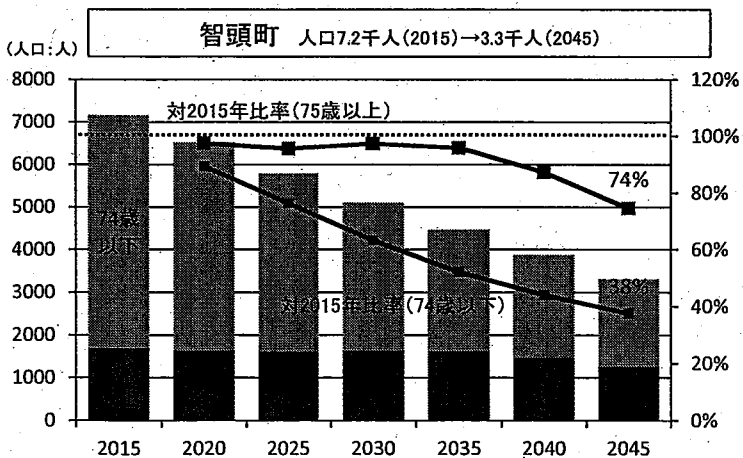
※将来推計は、国立社会保障・人口問題研究所(都道府県の将来推計人口(平成30年3月))をもとに作成

鳥取県の高齢化③(2015→2045)



※将来推計は、全て国立社会保障・人口問題研究所(都道府県の将来推計人口(平成30年3月))をもとに作成

鳥取県の高齢化④(2015→2045)

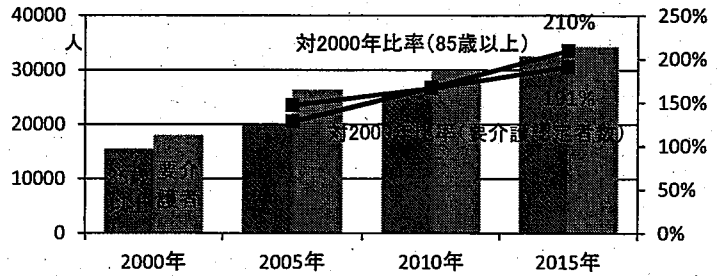


※将来推計は、全て国立社会保障・人口問題研究所(都道府県の将来推計人口(平成30年3月))をもとに作成

鳥取県の高齢化⑤ - 85歳以上人口のピーク -

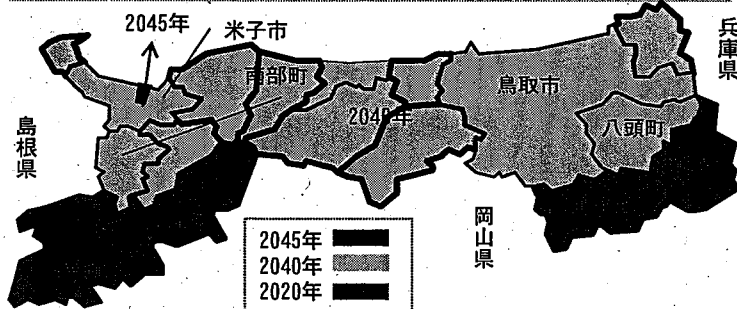
- 鳥取県内市町村の85歳以上人口は増え続けている。 ※75歳以上人口は県全体としては増加中だが、中山間地域では2010年にピークを迎え減少中
- 85歳以上人口の増加は、要介護認定者数の増加傾向に大きく影響する。
- 県内市町村の85歳以上人口のピークは、中山間地：2020年、その他：2040年（日吉津村のみ2045年）
- 今後20年で、都市部は急増する一方、中山間地は逆に減少する。

85歳以上人口と要介護認定者数の推移（鳥取県）

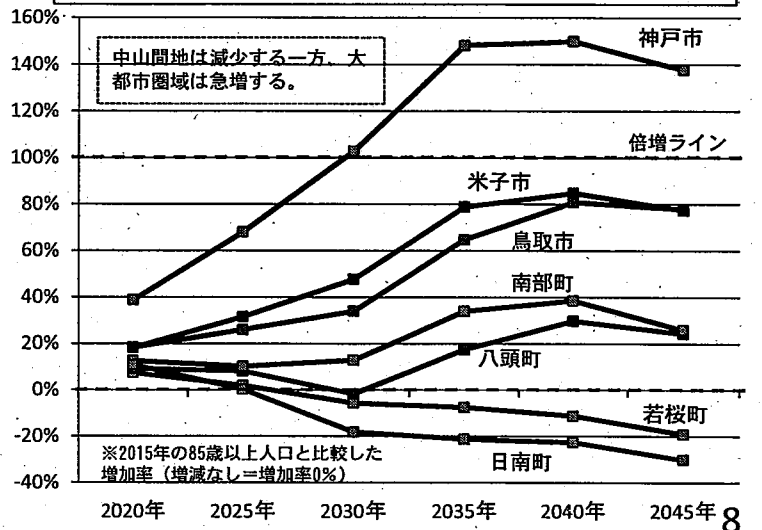


85歳以上人口のピーク年（鳥取県内市町村別）

年	団体名
2045年	日吉津村 (1団体)
2040年	鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、岩美町、八頭町、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、大山町、南部町、伯耆町 (13団体)
2020年	若桜町、智頭町、日南町、日野町、江府町 (5団体)

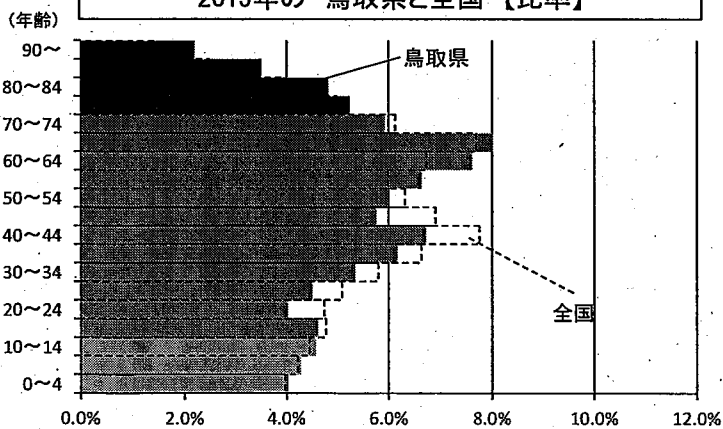


85歳以上人口の増加率（対2015年、鳥取県内市町村別）



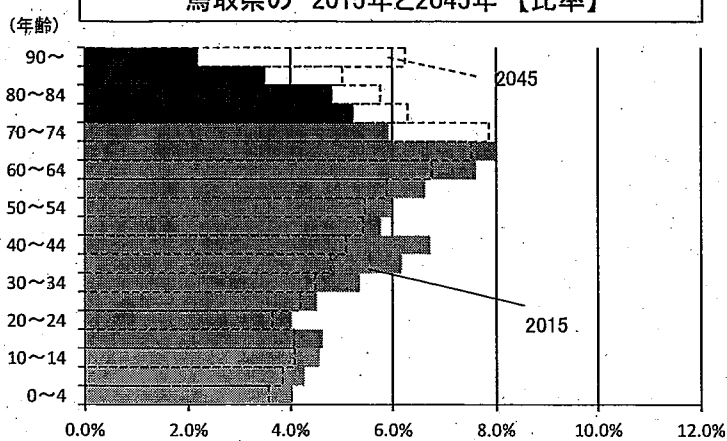
人口構成の変化(2015→2045)

2015年の鳥取県と全国【比率】

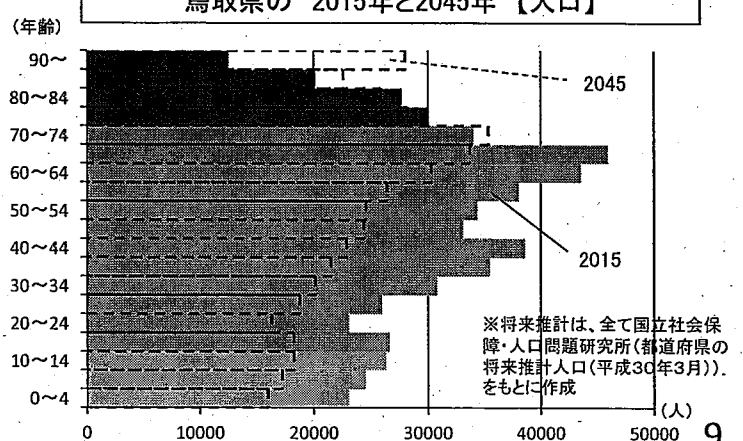


- 左上) 鳥取県の人口構成比率は、全国と比べて、生産年齢人口(15~64歳)が少なく、高齢者人口(65歳以上)が多い。また、高齢者人口の中でも特に75歳以上の後期高齢者が多い。
- 左下) 鳥取県の人口構成比率は、2015年からの30年で、より高齢者の割合が高まる。
- 右下) 鳥取県では、2015年からの30年で、年少人口、生産年齢人口が約30%減少する一方、高齢者人口はほぼ横ばい。ただ、高齢者人口の中でも、90歳以上人口は倍増する見通しとなっており、介護需要の増加は不可避。

鳥取県の2015年と2045年【比率】



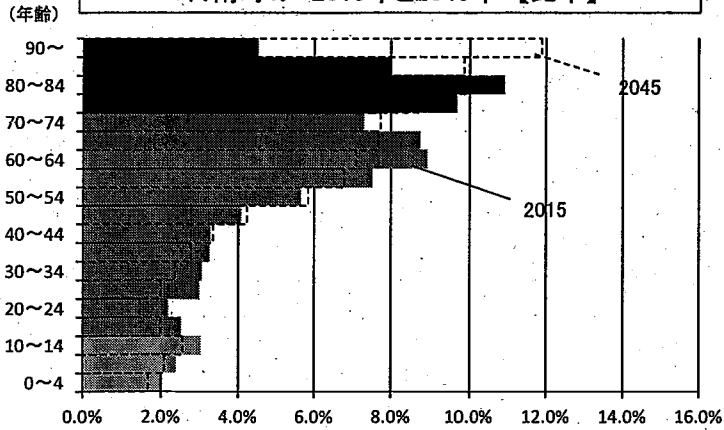
鳥取県の2015年と2045年【人口】



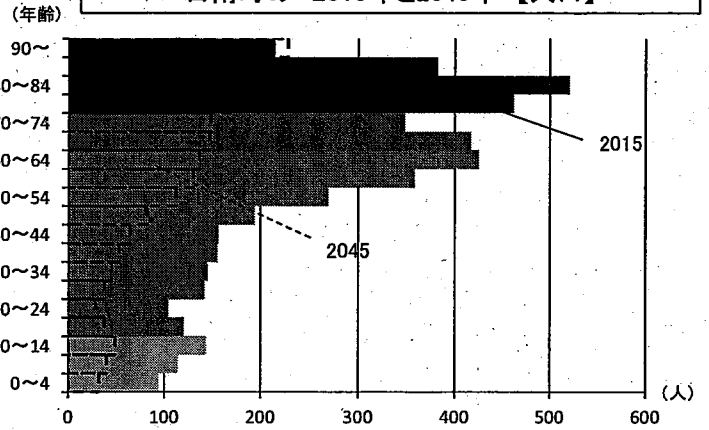
※将来推計は、全て国立社会保障・人口問題研究所(都道府県の将来推計人口(平成30年3月))をもとに作成

人口構成の変化(2015→2045)

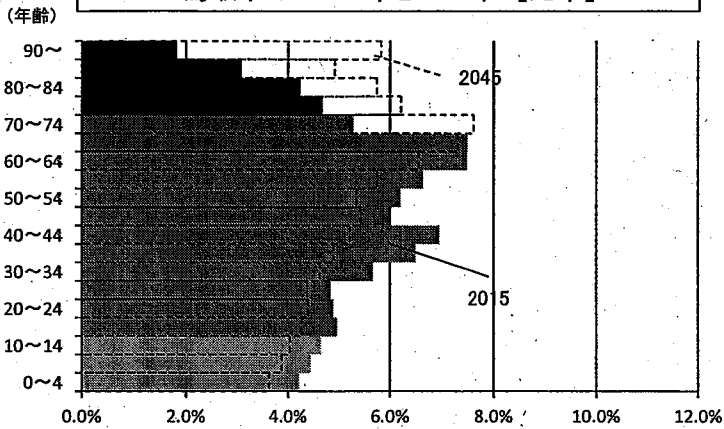
日南町の 2015年と2045年【比率】



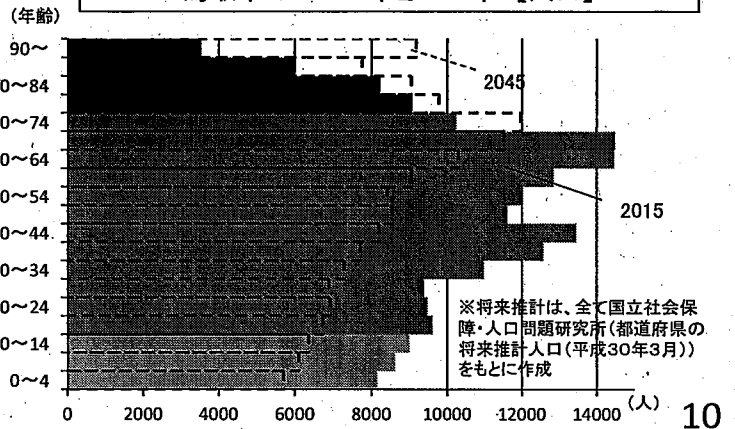
日南町の 2015年と2045年【人口】



鳥取市の 2015年と2045年【比率】

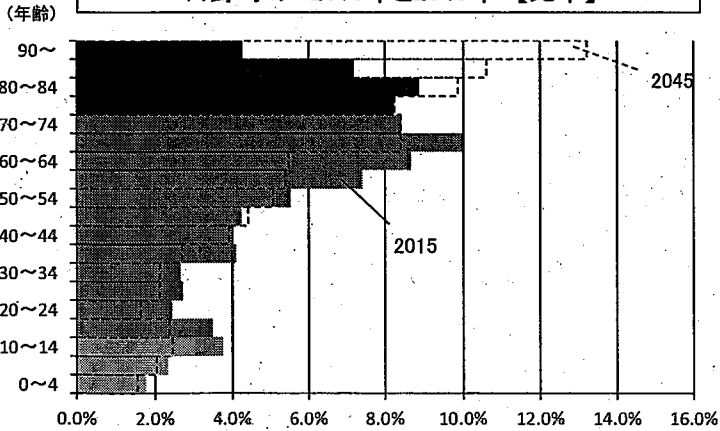


鳥取市の 2015年と2045年【人口】

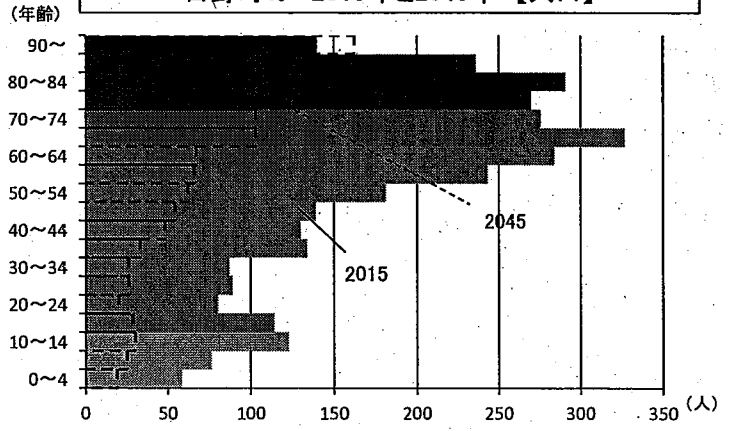


人口構成の変化(2015→2045)

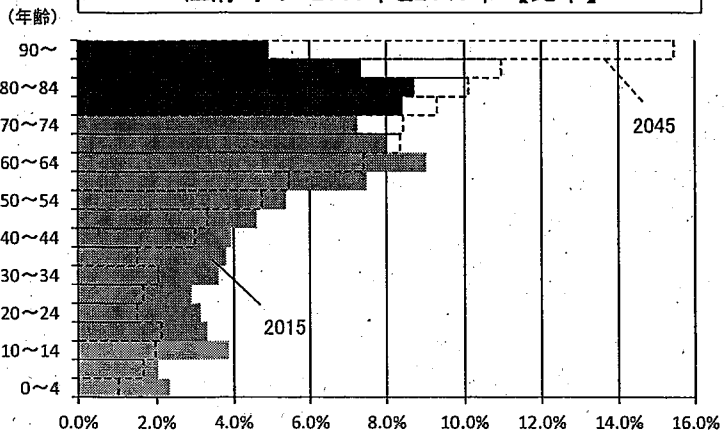
日野町の 2015年と2045年【比率】



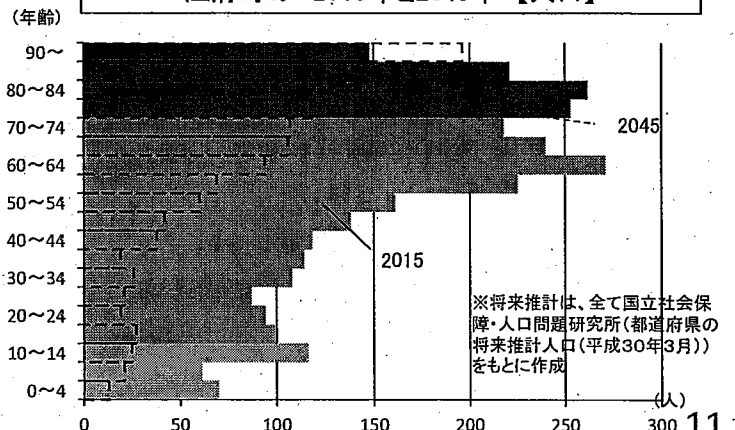
日野町の 2015年と2045年【人口】



江府町の 2015年と2045年【比率】



江府町の 2015年と2045年【人口】

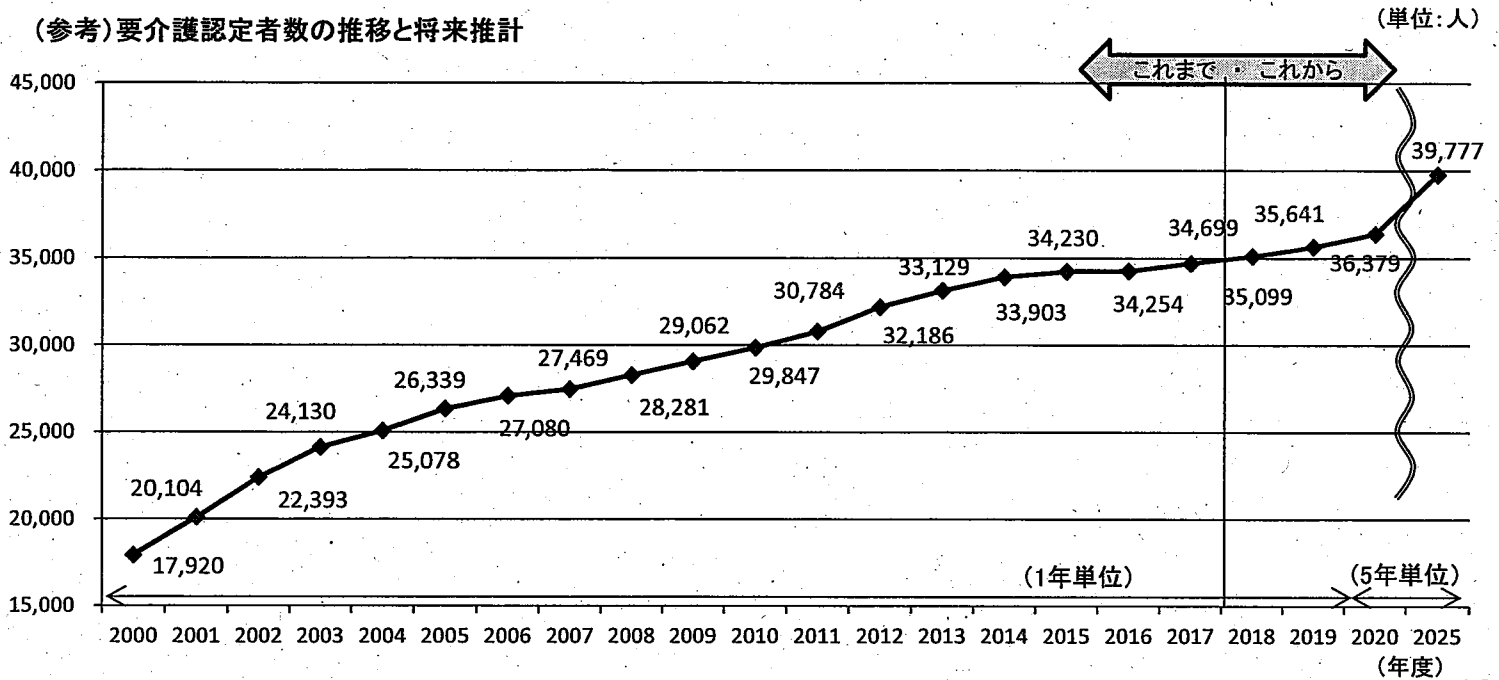


要介護認定者数、認定率(2000→2025)

【要介護認定者数及び認定率等】

- 本県の要介護認定者数は、介護保険制度が創設された平成12年度には17,920人(認定率12.6%)であったが、平成27年度には34,230人(認定率19.8%)にほぼ倍増。
- 鳥取県は要介護4、5の重度者割合が高い。(山間部の町村では、75歳以上の割合が高いこともあり重度者割合が高い。)

(参考)要介護認定者数の推移と将来推計

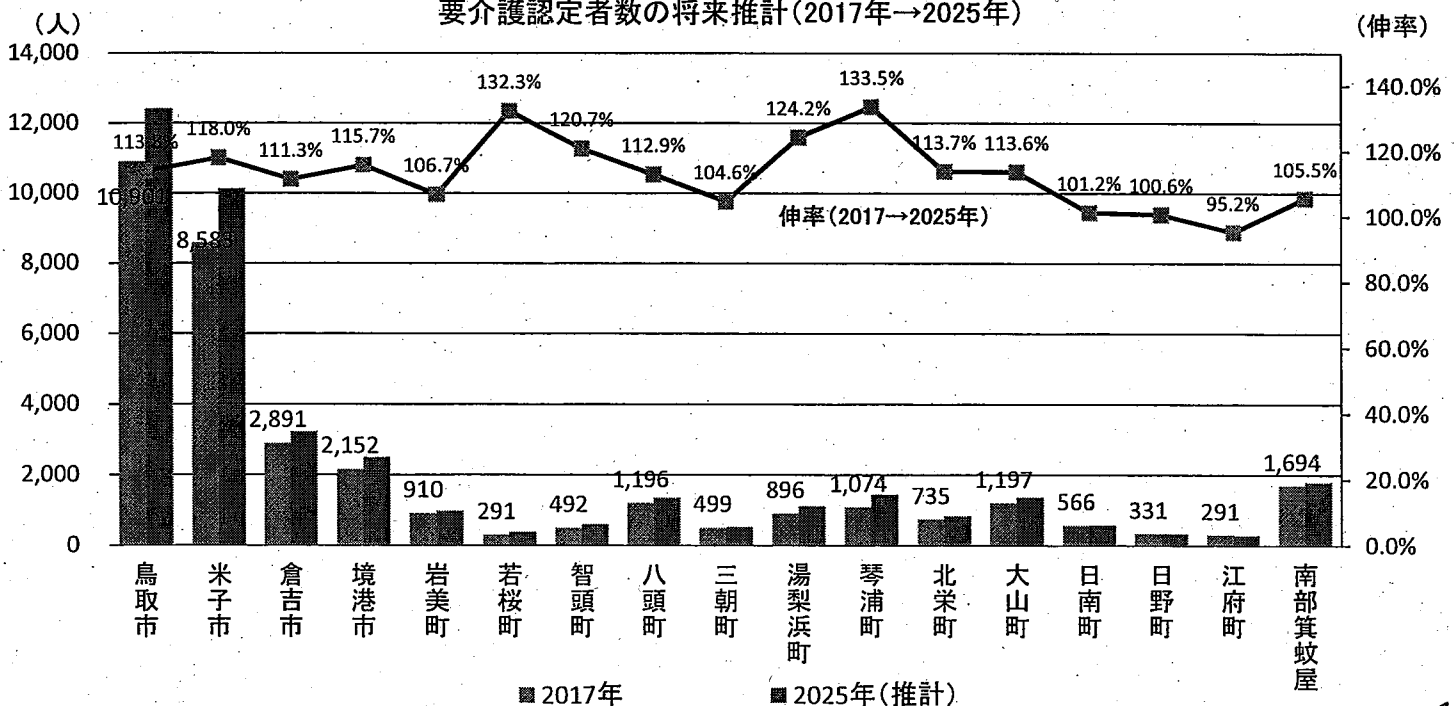


要介護認定者数の将来推計(2017→2025)

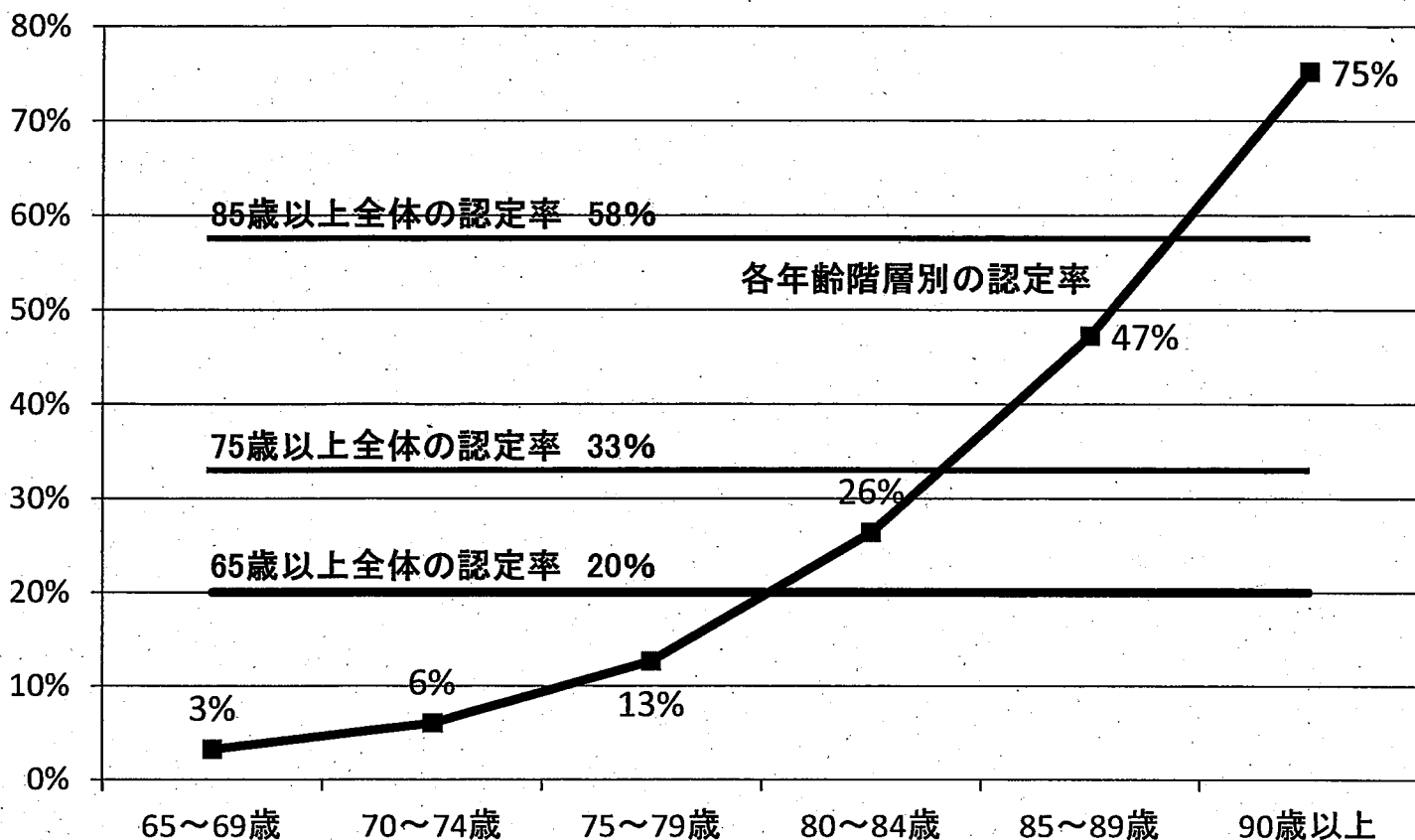
【要介護(支援)認定者数の将来推計(2017→2025年)】

- 2017年に34,699人であった要介護(支援)認定者数が、2025年には39,777人(対2017年114%)に増加する見通し。
- 伸率の差はあるが、ほとんど全ての市町村で要介護者数が増加する見通しとなっている。

要介護認定者数の将来推計(2017年→2025年)



鳥取県の年齢階層別の要介護(要支援)認定率(2015)



※平成27年度介護保険事業状況報告年報をもとに作成 各年齢階層別の認定率=H27要介護(要支援)認定者数(1号被保険者)÷H27国調人口

要介護認定者数の将来推計(2015→2045)

○鳥取県の2015年の年齢別(5歳毎)要介護認定率(※)×社人研の年齢別人口推計による単純推計

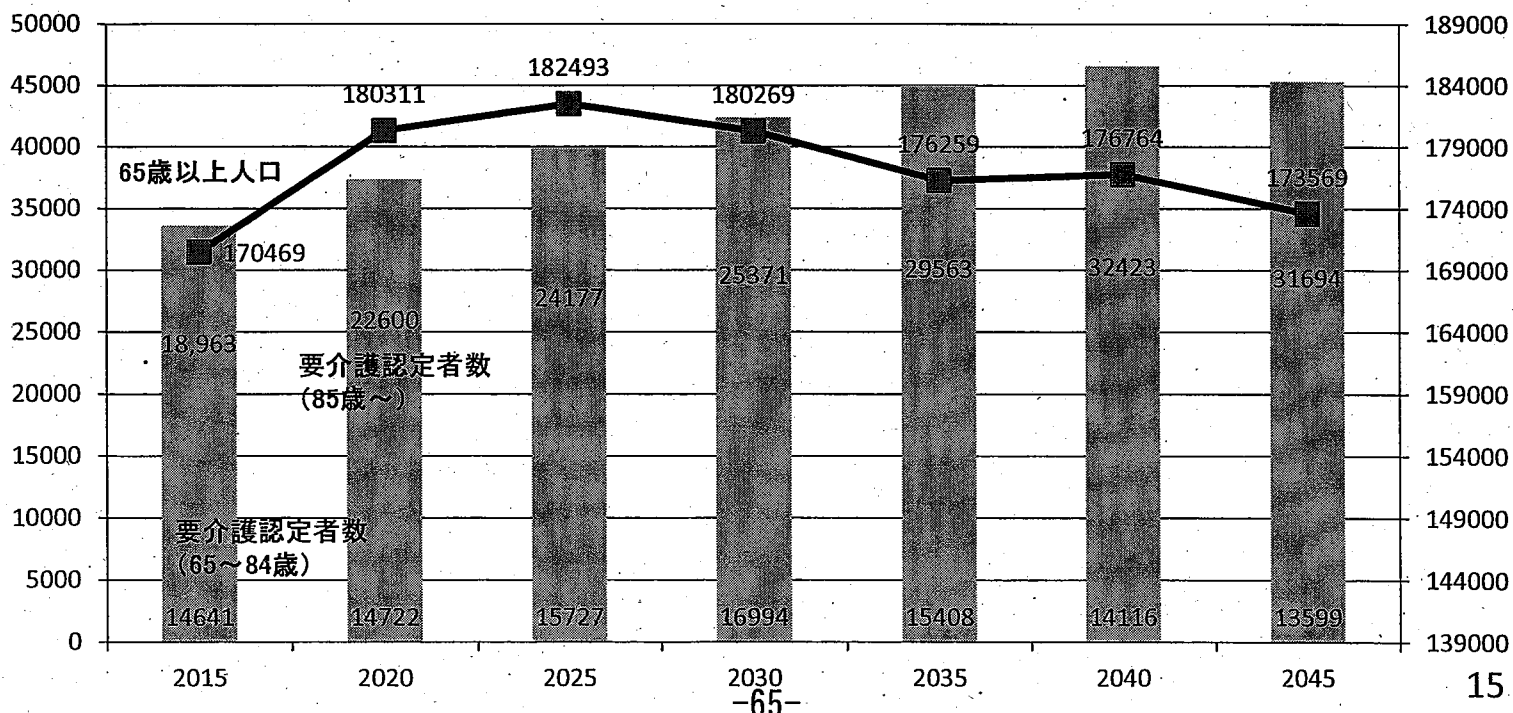
※2015年要介護認定者数(1号被保険者)÷2015年国調人口

○要介護認定者数がピークを迎える2040年は、対2015年比で、
65歳以上人口 +6,295人(伸率1.04)、要介護者数 +12,935人(伸率1.38)

○今後は85歳以上の要介護認定者数が急増 18,963人(2015年)→32,423人(2040年)

要介護認定者数(1号)(単位:人)

65歳以上人口(単位:人)

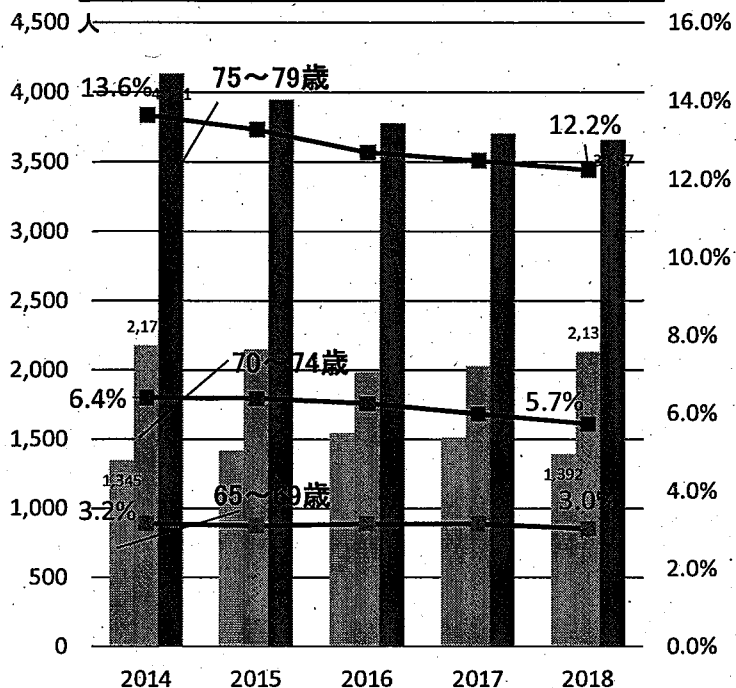


鳥取県の年齢階層別の要介護認定者数と認定率 (2014-2018)

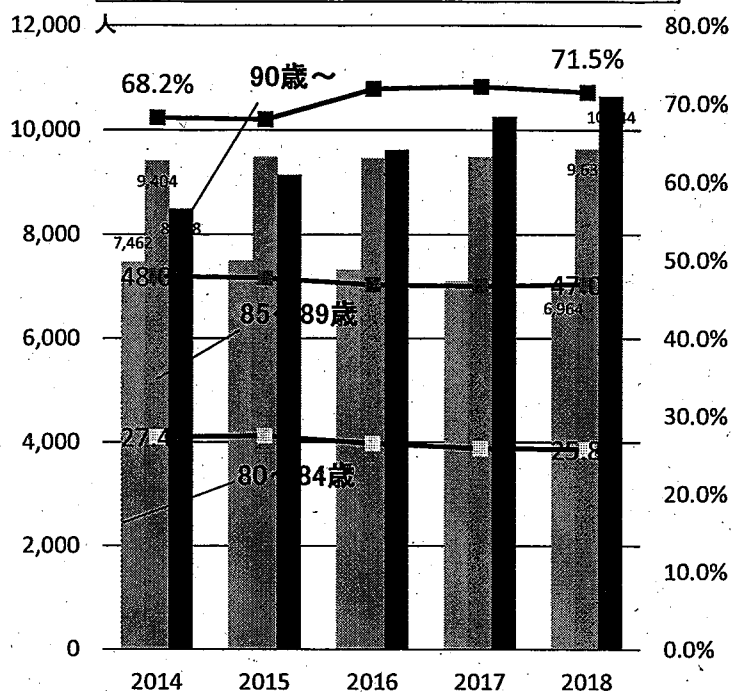
【年齢5歳階層別 要介護認定者数と認定率】

- 要介護（支援）認定者数について、90歳以上が増加傾向で、その他の年齢階層は減少か横ばい。
- 要介護（支援）認定率についても、90歳以上が増加傾向で、その他の年齢階層は減少か横ばい。

要介護認定者数と認定率 (65～79歳)



要介護認定者数と認定率 (80歳～)

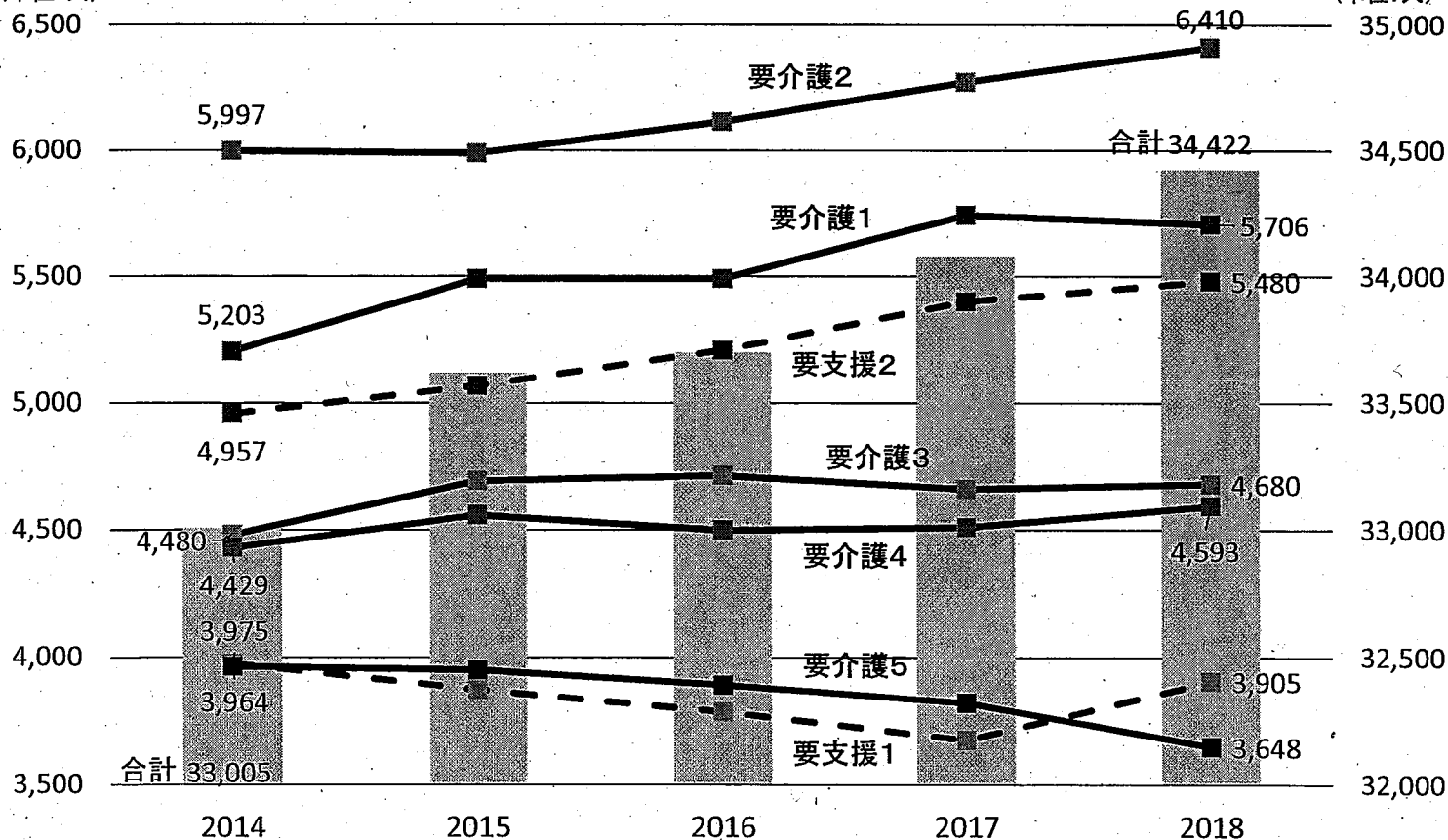


※認定率: 要介護認定者数÷推計人口 (厚生労働省「介護保険事業状況報告 各年の9月月報」(鳥取県「推計人口 各年の10月分」)

鳥取県の要介護認定者数等の推移 (2014-2018)

【要介護度別】
(単位:人)

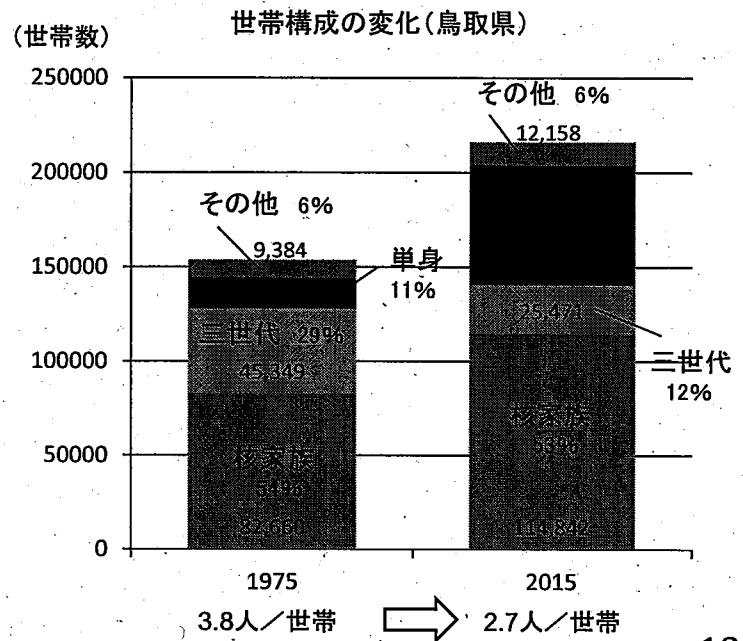
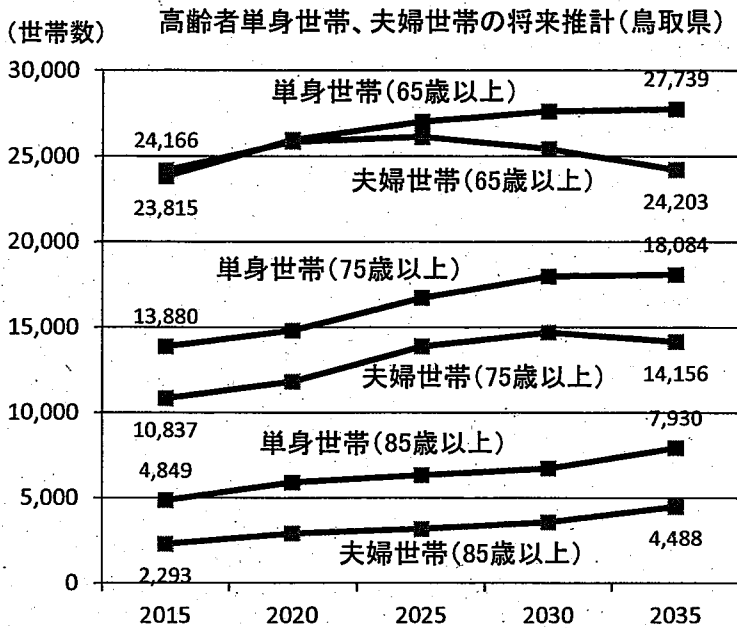
【合計】
(単位:人)



世帯の状況

【世帯の状況等】

- 2015年は、全世帯約22万世帯中、2.4万世帯が高齢者夫婦世帯、2.4万世帯が高齢者単身世帯。
- このうち、65歳以上の高齢者夫婦世帯は2025年をピークに減少に転じるが、単身世帯は65歳以上、75歳以上、85歳以上全ての区分で増加し続ける見込み。
- 世帯構成は、単身世帯が増加し三世帯世帯が減少。世帯一人あたりの人口も、1975年の3.8人から2015年の2.7人に減少し、さらに2025年には2.5人へ減少する見込み。



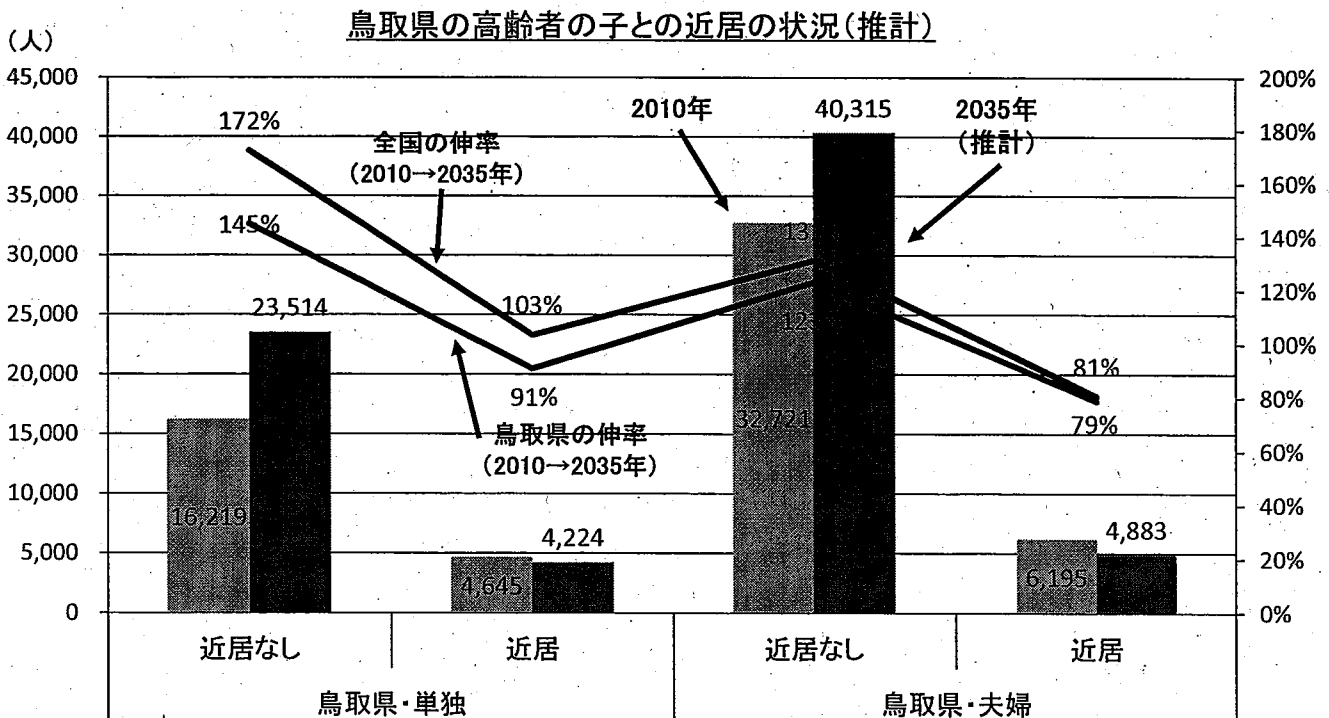
※国立社会保障・人口問題研究所 日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計)(2014年4月推計)

※国勢調査(昭和50年、平成27年)

高齢者の子との近居の状況(2010→2035)

【高齢者の子との近居の状況(推計)】

- 鳥取県では、2035年に向けて、高齢者の単身世帯、夫婦世帯のうち、子と近居でないケースが大きく増加する見通し。※全国の大都市圏ではより大幅な伸び
- 介護が必要となったときに、家族からの日常的な支援が期待できない。



出典:国立社会保障・人口問題研究所「高齢者の居住状態の将来推計」

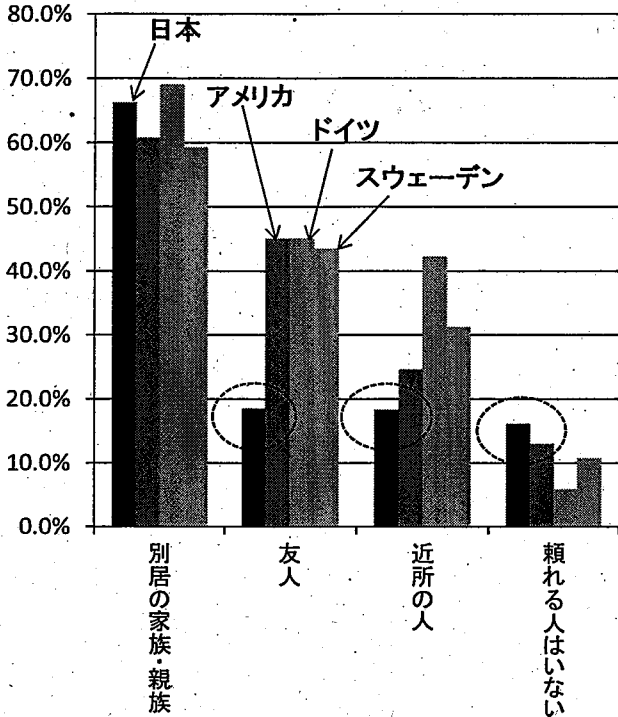
同居の家族以外に頼れる人(2017)

○2015年9月～12月、60歳以上(施設入所者を除く)を対象に行った抽出調査。

○各国の調査員による個別面接聴取調査で、国ごとに1,000件(スウェーデン)～1,105件(日本)のサンプルを回収した。

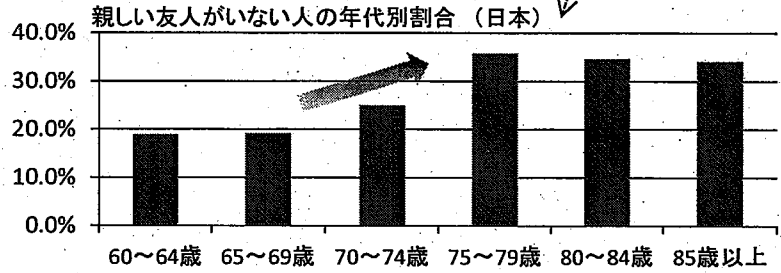
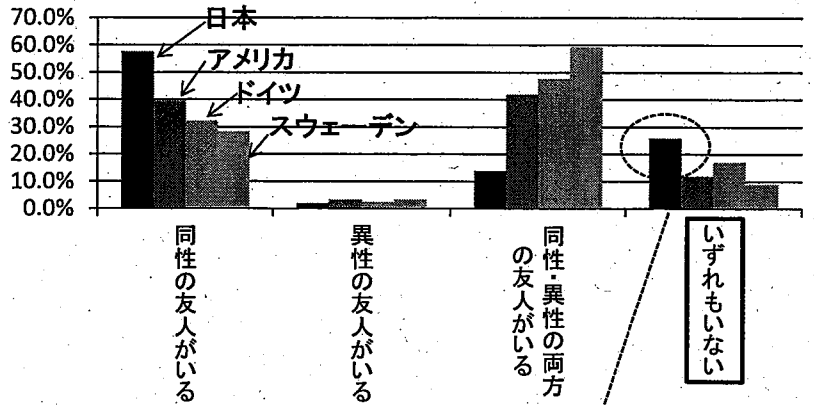
同居の家族以外に頼れる人

病気の時や、一人では出来ない日常生活に必要な作業が必要な時、同居の家族以外に頼れる人があるか



親しい友人の有無

家族以外に相談あるいは世話をし合う親しい友人がいるか



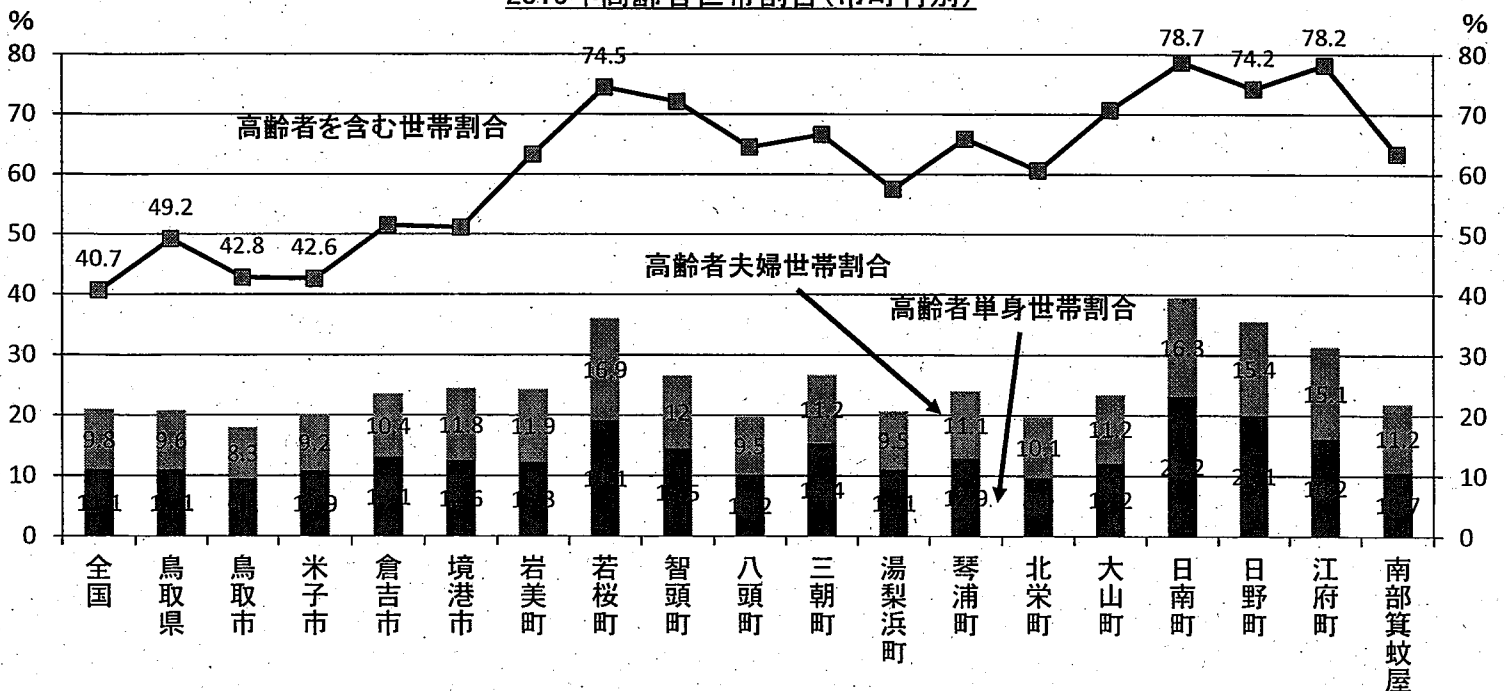
※第8回「高齢者の生活と意識に関する国際比較調査」(2017年内閣府)

世帯の状況(市町村)(2015)

【高齢者世帯の割合(2015年、市町村別)】

- 高齢者を含む世帯割合は、市町村によって大きな差がある。(米子市 42.6%、日南町 78.7%)
- 高齢者夫婦、高齢者単身の世帯割合は、最も低い鳥取市(17.9%)と最も高い日南町(39.5%)では倍以上の差がある。

2015年高齢者世帯割合(市町村別)

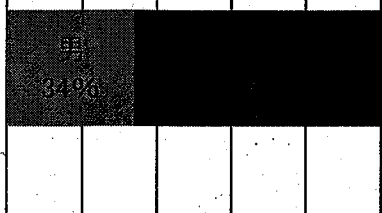


主な介護者と女性の有業率

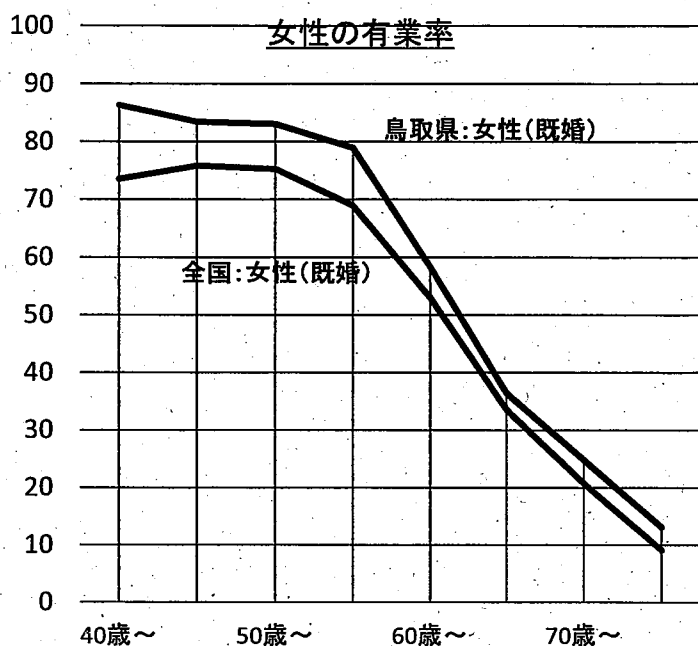
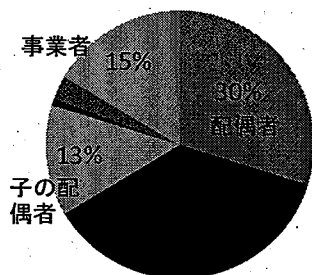
【主な介護者と女性の有業率】

- 主な介護者の66%は女性で、50代、60代、70代が約8割を占める。
- 配偶者と子が介護の中心。
- 鳥取県の女性（既婚）の有業率は全ての年代で全国平均を上回る。
- 有業率の高さは、県民所得の低さも一因か。※一人当たり県民所得は46位（平成22年～27年）

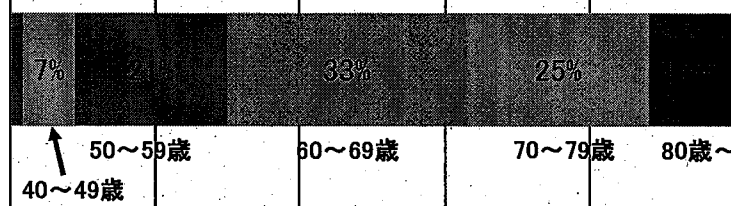
主な介護者の性別
(平成28年)



主な介護者の続柄
(平成28年)



主な介護者の年齢階級(平成28年、女性)



出典: 平成28年国民生活基礎調査

出典: 平成29年就業構造基本調査

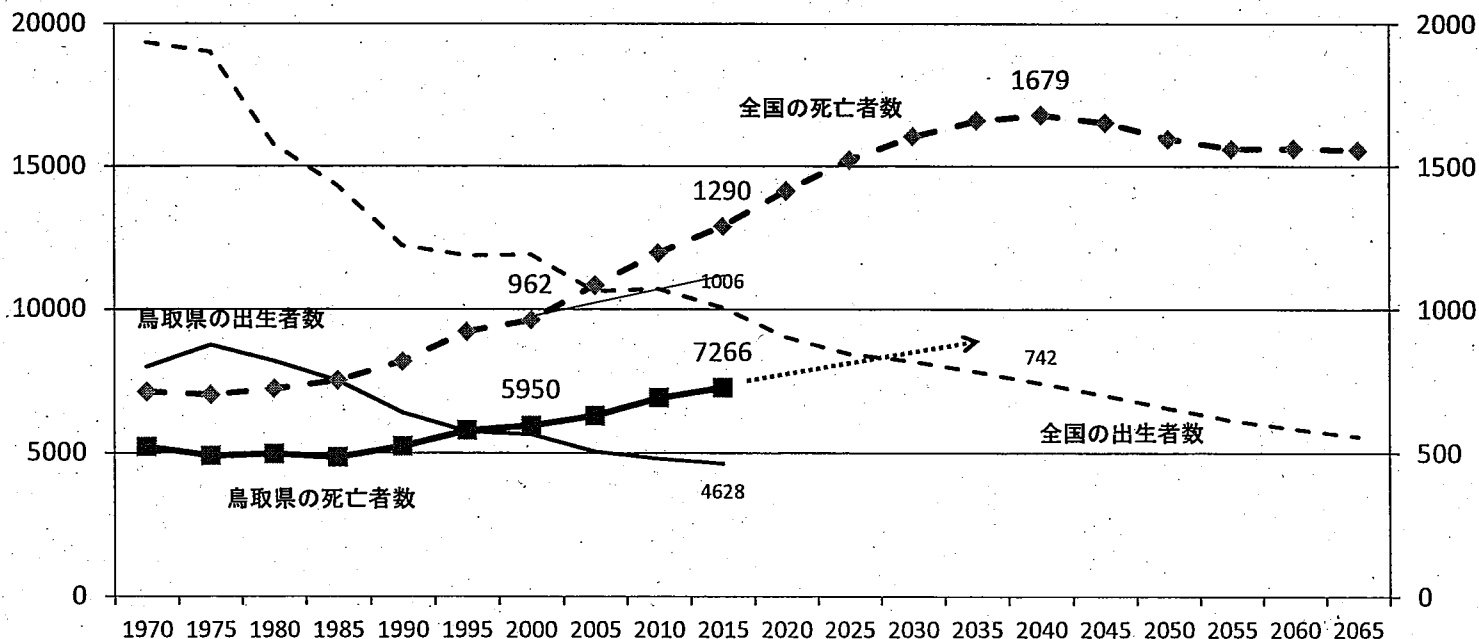
22

死亡者数の推計(1970→2065)

- ・ 鳥取県内の死亡者数は、高齢化の進展に伴い、平成12(2000)年の5,950人に対し、平成27(2015)年は、7,266人。(15年間で約1,300人増加(1.22倍))
- ・ 国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、日本の死亡者数は、平成12(2000)年の962千人に対して2015年は1,290千人(対2000年で1.34倍)、2040年には1,679千人に。(対2015年で1.30倍)

鳥取県の出生者数、死亡者数(単位:人)

全国の出生者数、死亡者数(単位:千人)

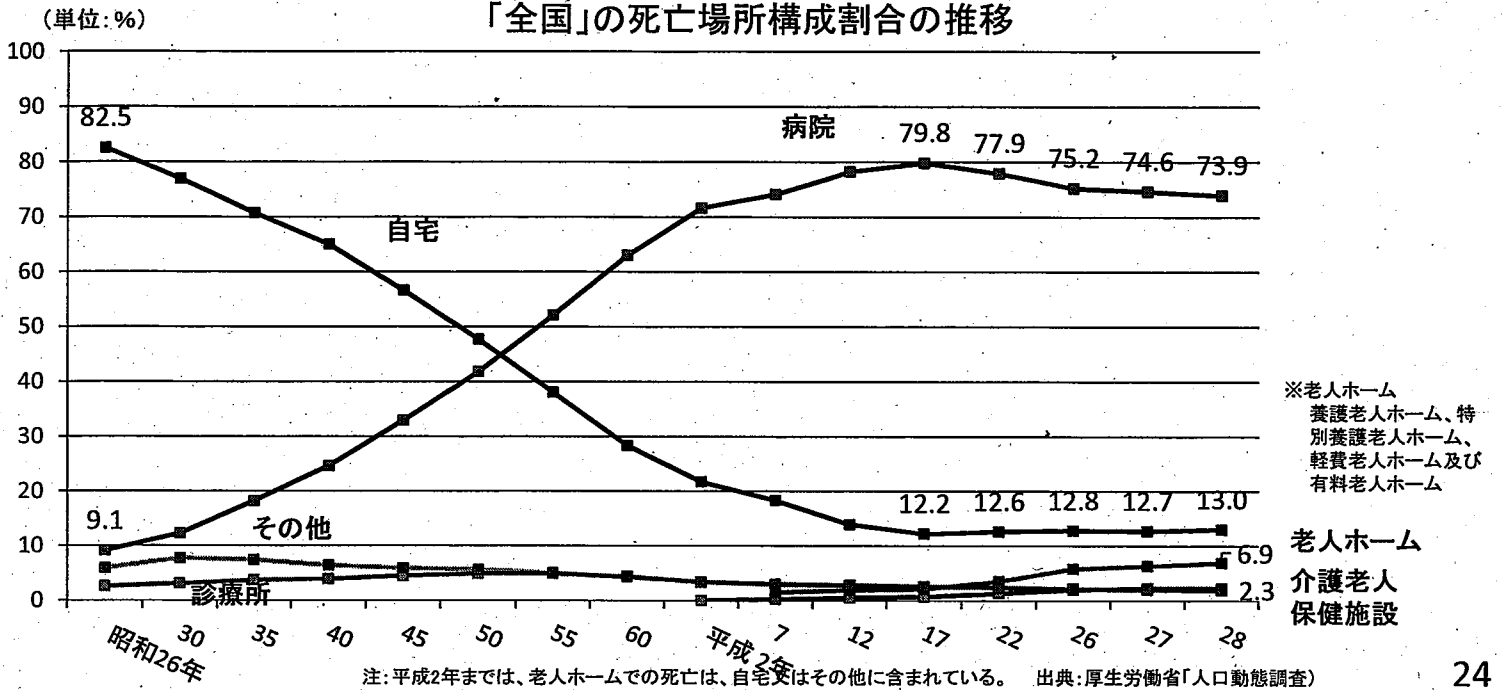


※鳥取県「人口移動調査」、厚生労働省「人口動態統計」、2020年以降の推計値は社会保障人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」をもとに作成

死亡場所の変遷①(1951→2016)

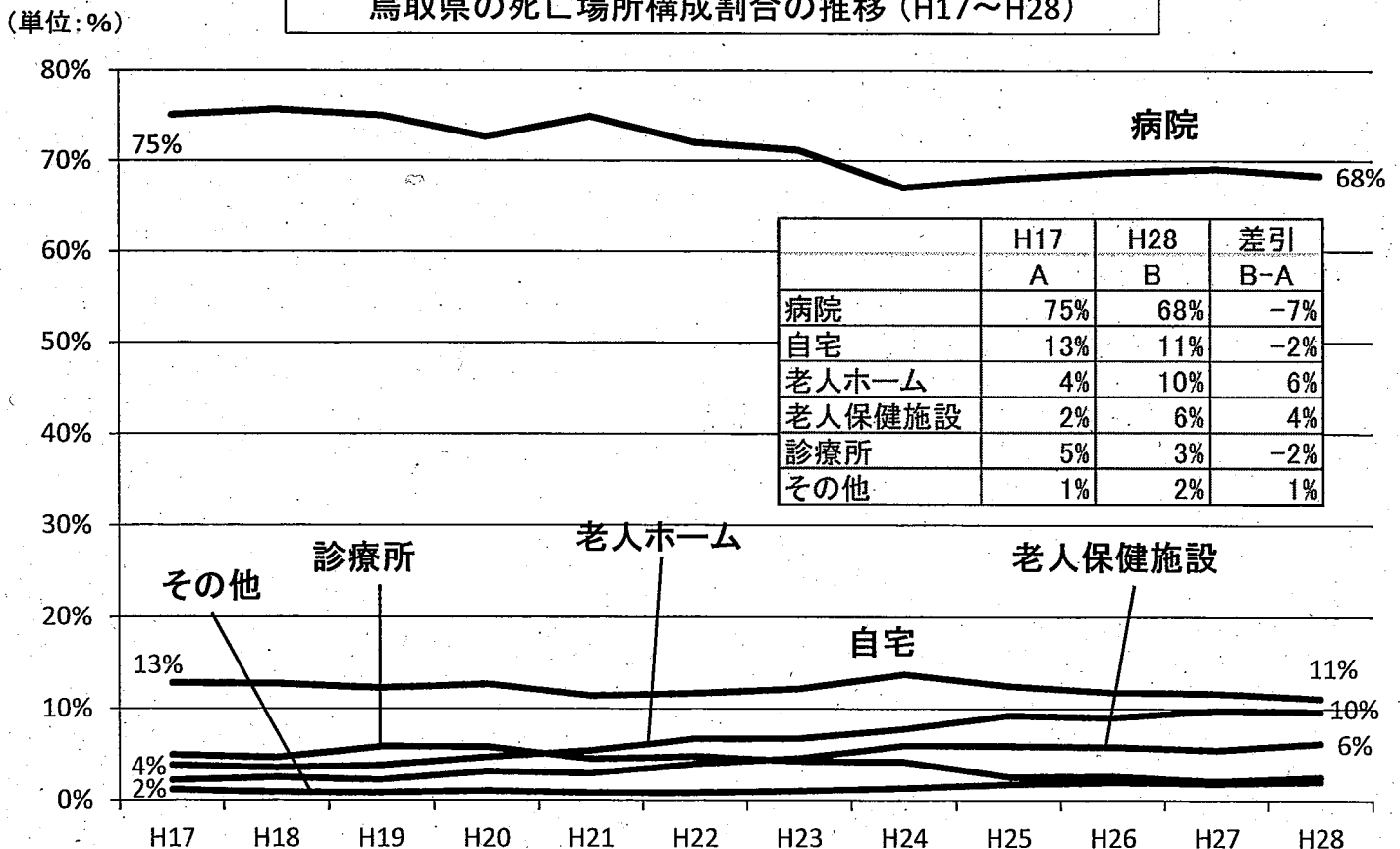
【死亡場所の変遷】

- 昭和50年代に自宅と病院が逆転。近年は、最後の住まいとして、老人ホーム等が増加。
- 平成28年の鳥取県内の死亡者数7,357人のうち、老人ホーム等で亡くなった方の人数は1,120人、構成割合（老人ホーム等で亡くなった人数÷死亡者数）は約15.2%。（全国：構成割合9.2%）
- 鳥取県内の死亡者の場所について、平成18年～28年の10年間で比較すると、介護施設で亡くなった人の数は約3倍増。（不慮の事故、自死を除く）（H18：291人→H28：873人）



死亡場所の変遷②(2005→2016)

鳥取県の死亡場所構成割合の推移 (H17～H28)



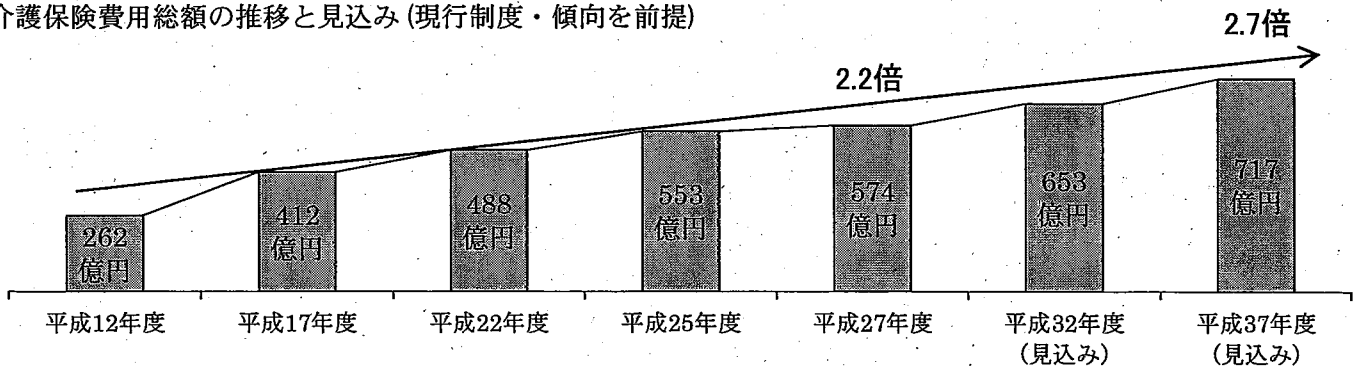
2 鳥取県の介護保険制度の現状

介護保険費用と保険料 (2000→2025)

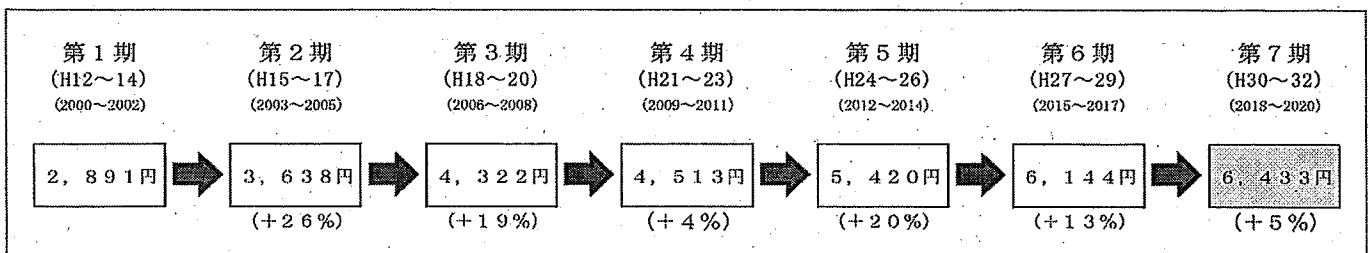
【介護保険費用の増と負担】

本県の介護保険費用総額は年々増加しており、平成23年度に500億円を突破し、平成27年度は574億円となっている。2025年には平成27年度の574億円の1.25倍に当たる717億円程度になると見込まれる。

介護保険費用総額の推移と見込み (現行制度・傾向を前提)



第1号被保険者の介護保険料月額額の推移



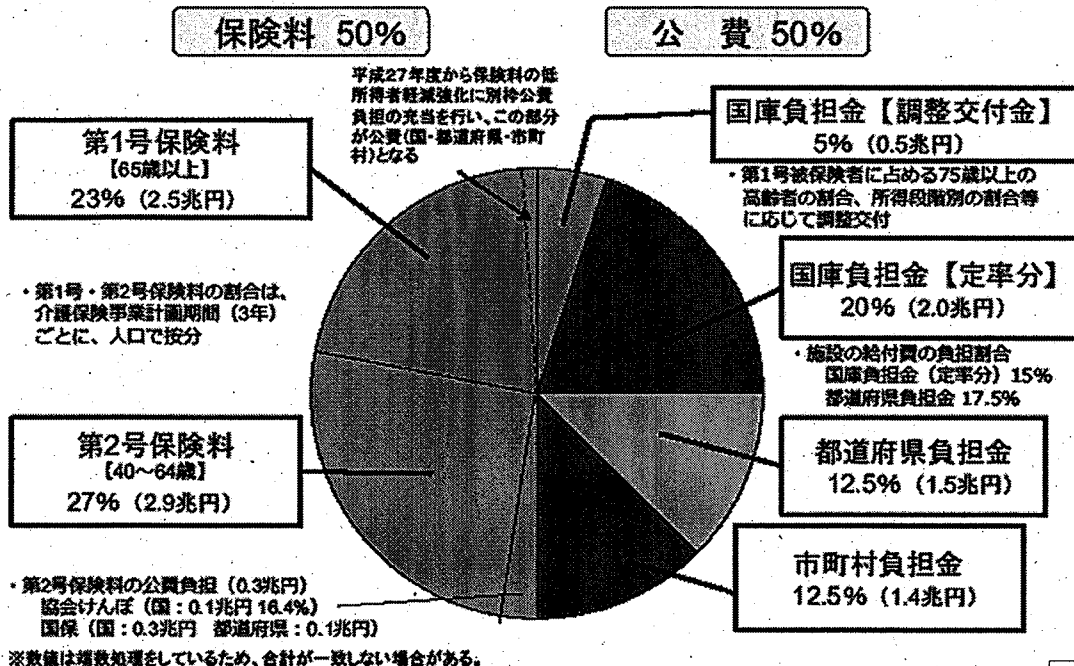
介護保険の財源構成と規模

<全国>

<市町村の第1号保険料>

介護保険の財源構成と規模

(令和元年度予算 介護給付費:10.8兆円 総費用ベース:11.7兆円)



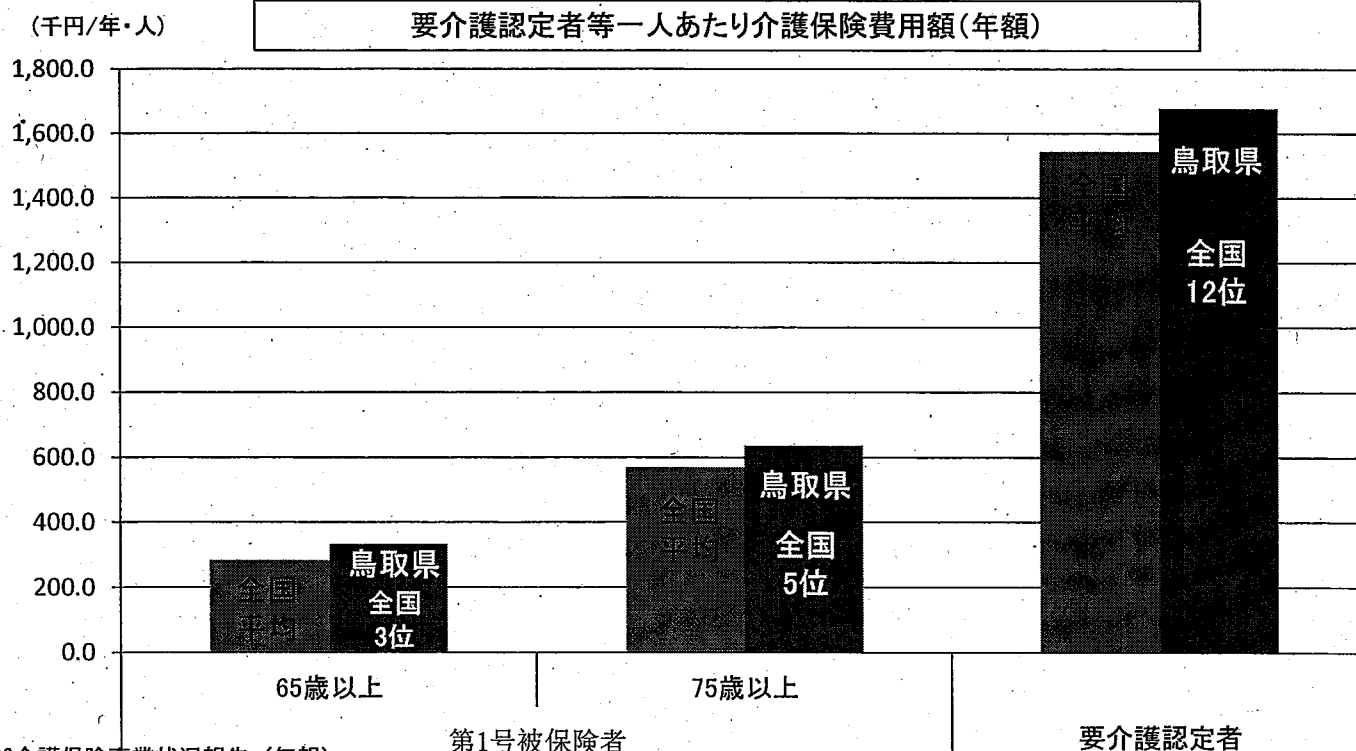
保険者名	第7期保険料基準額(月額) (円)
鳥取市	6,500
米子市	6,480
倉吉市	6,392
境港市	6,378
岩美町	7,056
若桜町	6,500
智頭町	6,100
八頭町	6,900
三朝町	6,700
湯梨浜町	6,000
琴浦町	6,000
北栄町	5,760
大山町	6,946
日南町	5,700
日野町	7,459
江府町	6,800
南部箕蚊屋広域連合	5,917
鳥取県平均保険料基準額(加重平均)	6,433

(厚生労働省資料)

28

介護サービス利用状況①(2017)

- 平成29(2017)年度の「65歳以上第1号被保険者一人あたり費用年額」は333千円となっており、全国3位で全国平均の284千円を17.3%上回っている。
- 「75歳以上第1号被保険者一人あたり費用年額」や「要介護認定者一人あたり費用年額」の比較でも、635千円(全国5位)、1,677千円(全国12位)であり全国平均を10%程度上回っている。



※H29介護保険事業状況報告(年報)

第1号被保険者

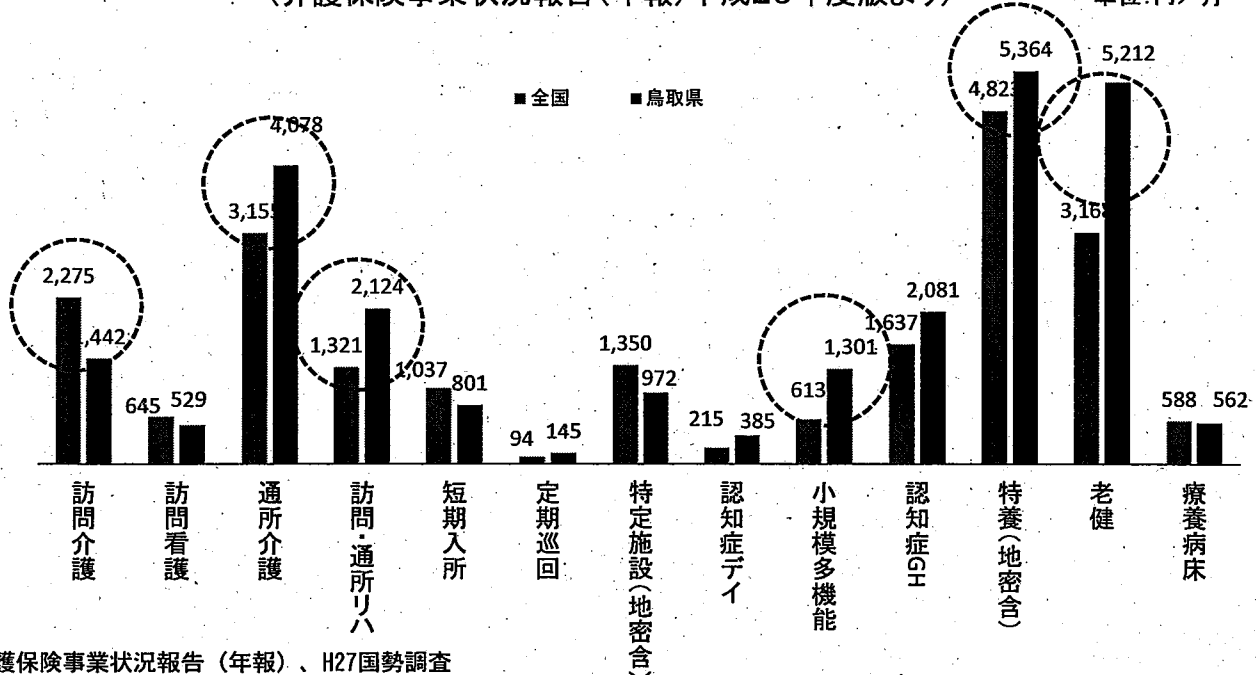
要介護認定者

介護サービス利用状況②(2017)

- 要介護認定者1,000人あたりの入所施設、通所施設のサービス量は全国平均を上回る。
- 中でも、通所介護施設（デイサービス）、訪問・通所リハ、小規模多機能型居宅介護施設、特養、老健は全国平均を大きく上回っている。一方、訪問系（訪問介護、訪問看護）は低調で、特に山間地には訪問看護などのサービスが普及していない地域もある。

高齢者1人あたり介護保険サービス利用状況
(介護保険事業状況報告(年報)平成29年度版より)

単位:円/月

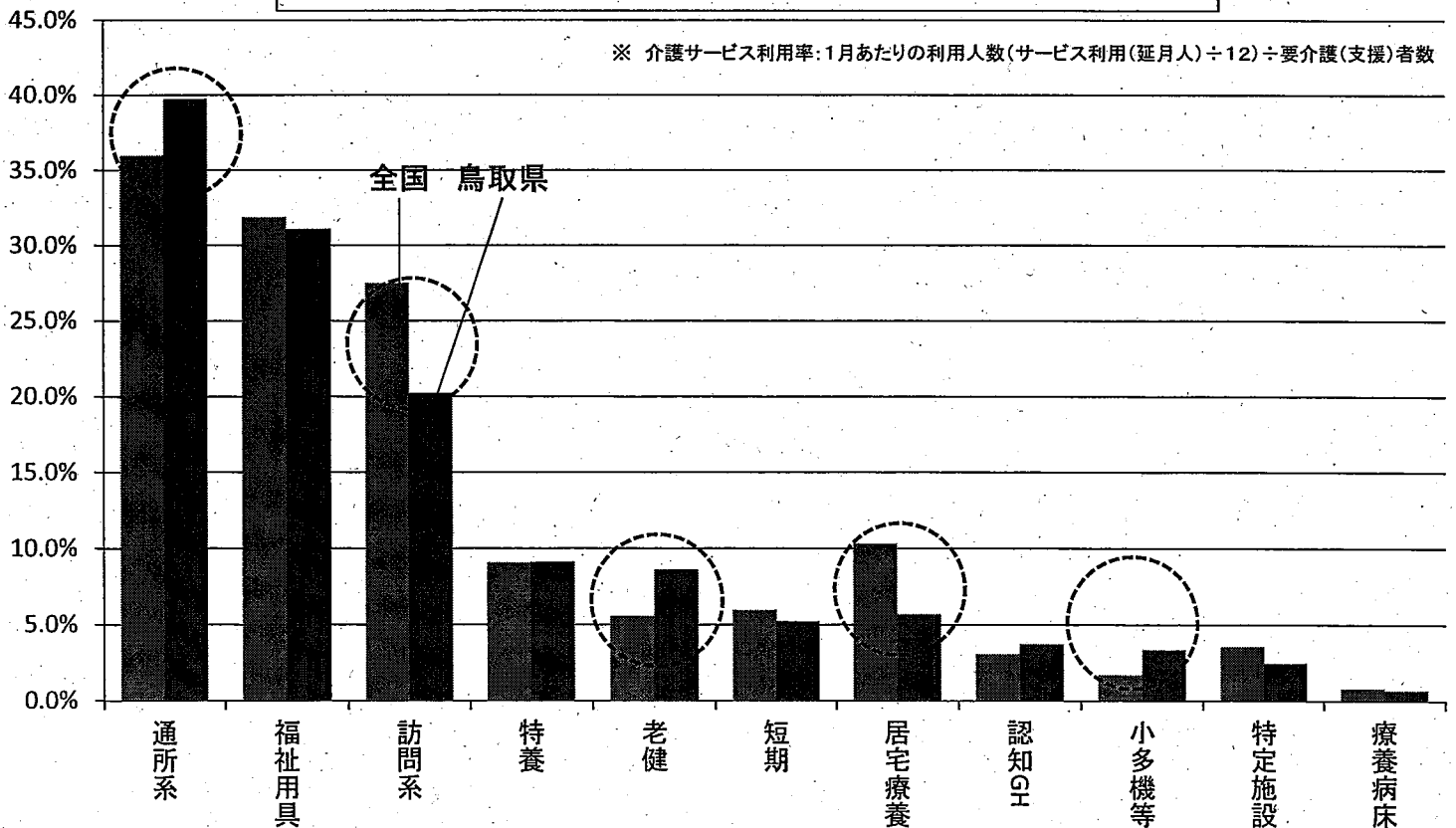


※H29介護保険事業状況報告(年報)、H27国勢調査

介護サービス利用状況③(2017)

要介護認定者等の介護サービス利用率

※ 介護サービス利用率:1月あたりの利用人数(サービス利用(延月人)÷12)÷要介護(支援)者数

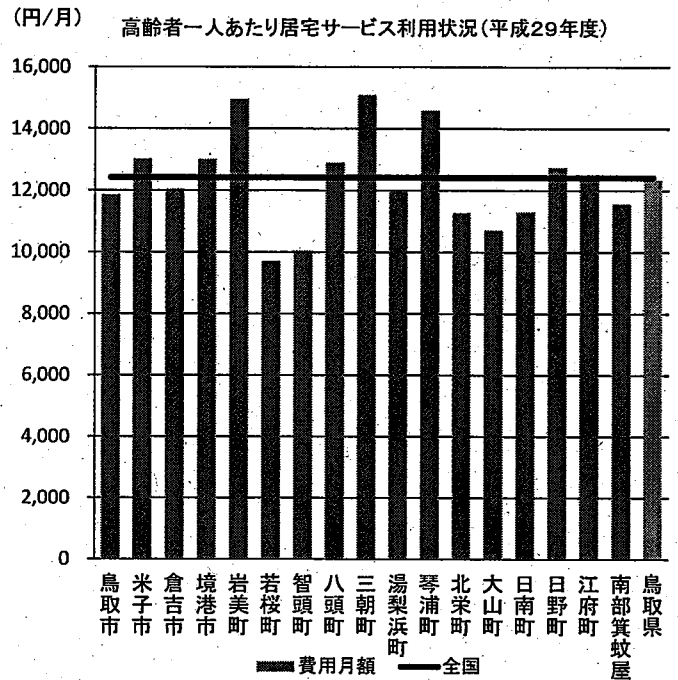
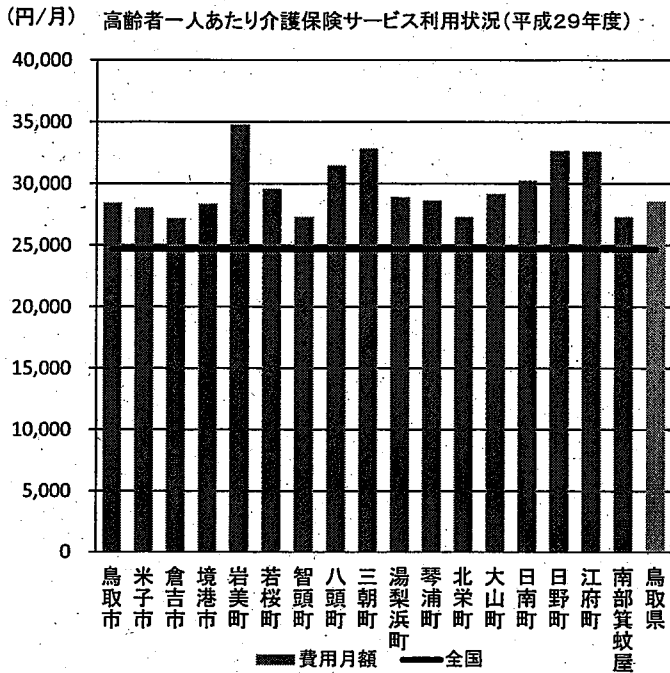


※H29介護保険事業状況報告(年報)

介護サービス利用状況(市町村)①(2017)

高齢者1人あたりのサービス利用状況は、全団体が全国平均を上回る。

居宅サービスは、半数を超える団体が全国平均を下回る。

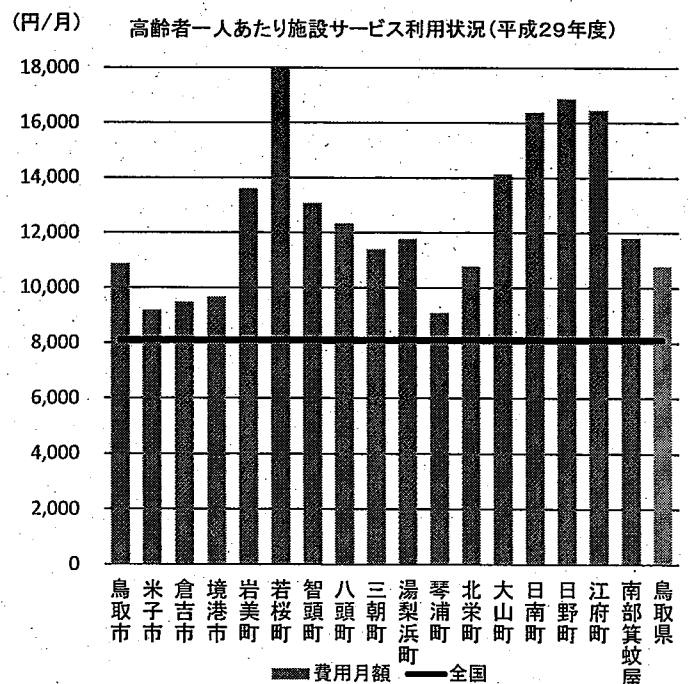
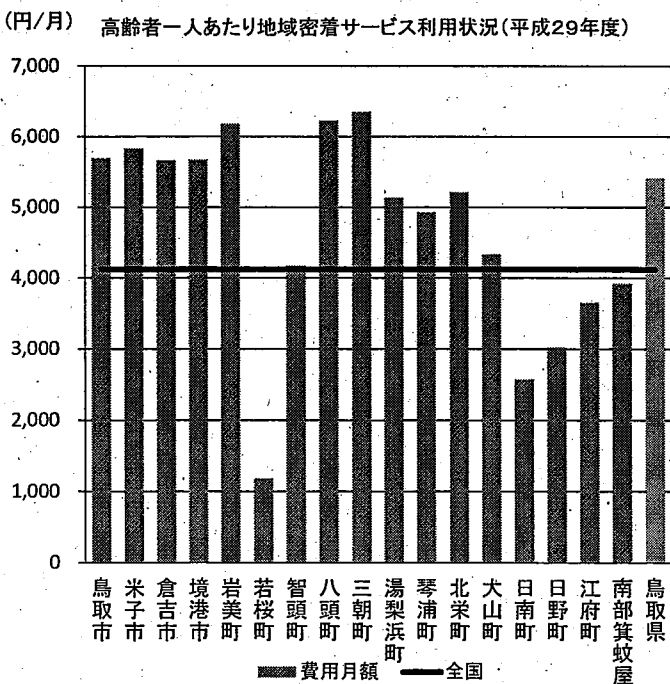


※H29介護保険事業状況報告(年報)、H27国勢調査

介護サービス利用状況(市町村)②(2017)

地域密着型サービスは団体によって格差が大きい。

施設サービスはすべての団体が全国平均を上回る。

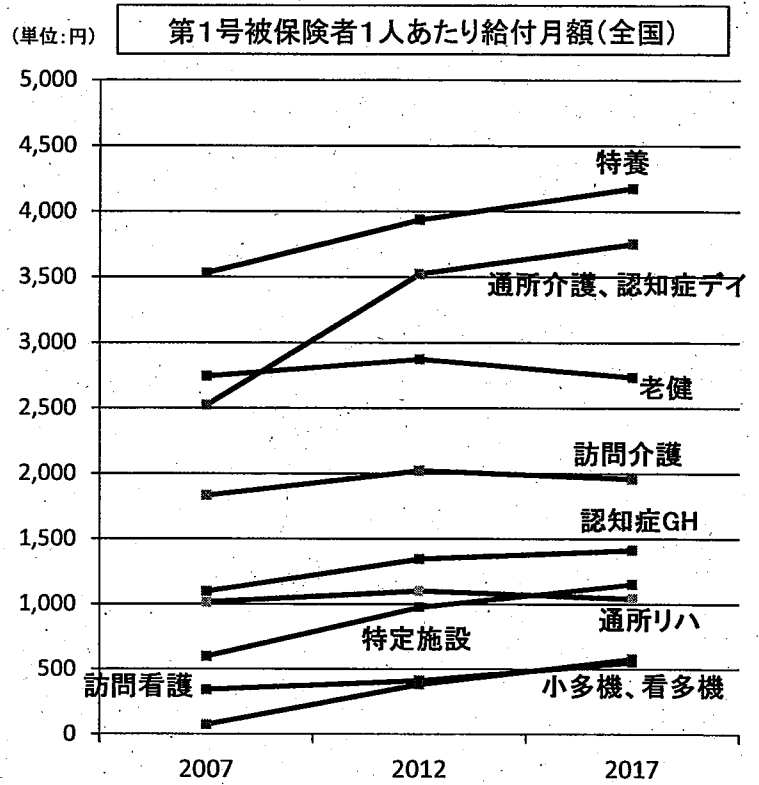
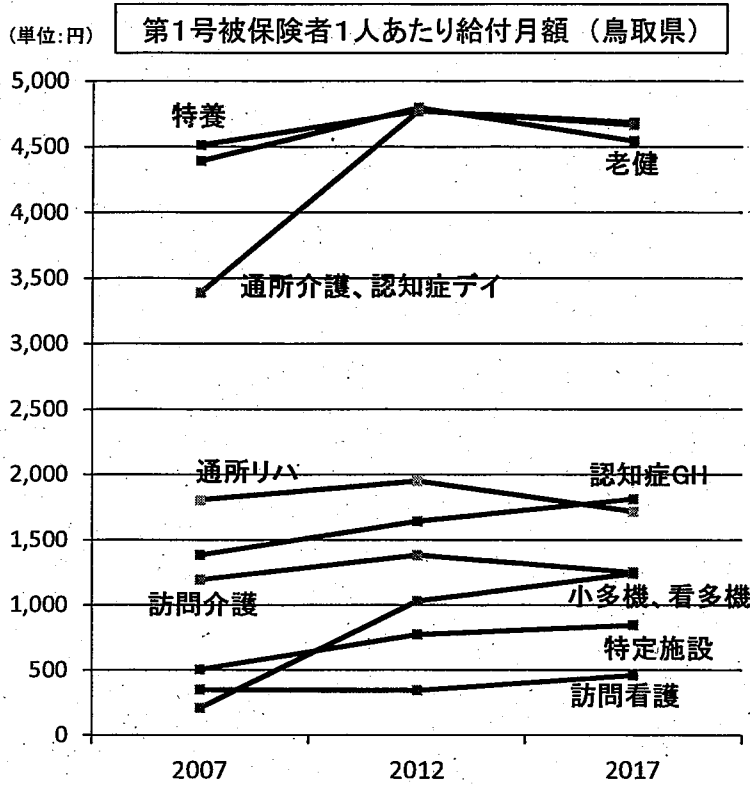


※H29介護保険事業状況報告(年報)、H27国勢調査

給付月額の推移(鳥取県・全国、2007→2017)

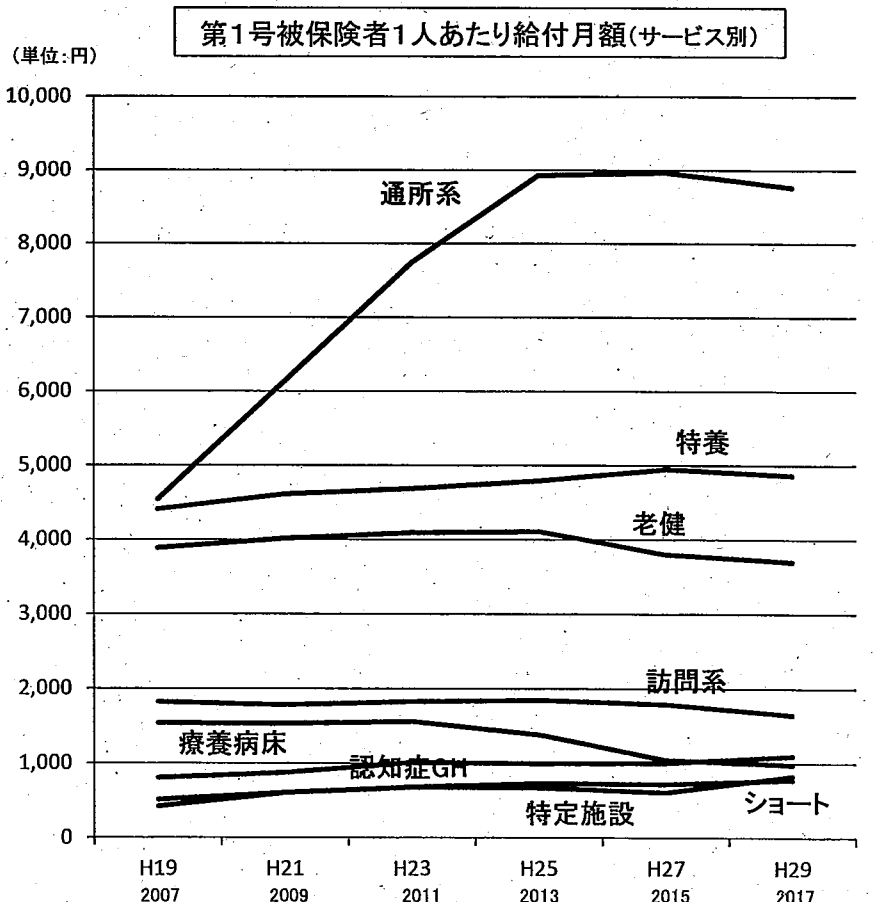
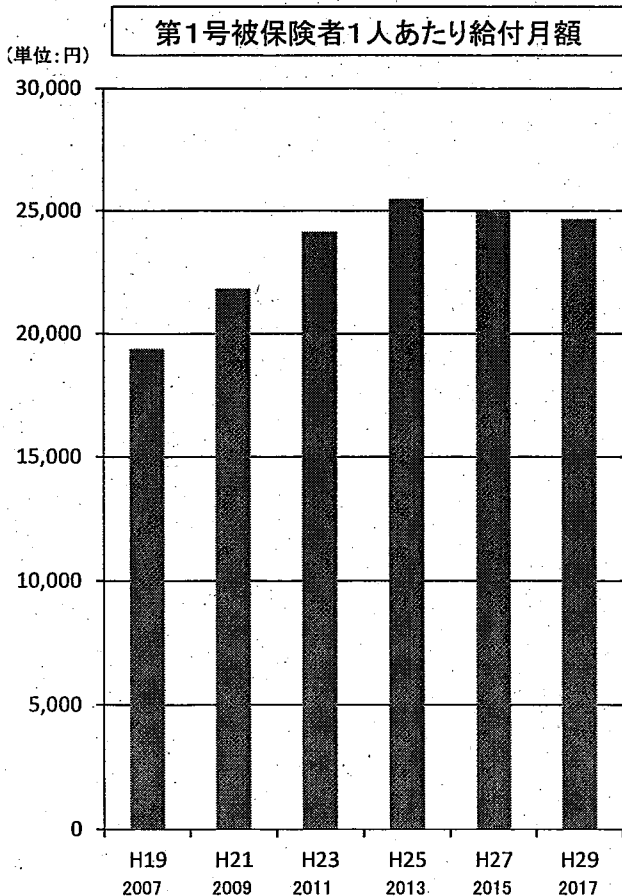
○第1号被保険者1人あたり給付月額10年間の推移。

○本県の特養、老健、通所介護等に係る給付月額はかなり高い一方、訪問介護は低い。



※介護保険事業状況報告年報(H29は介護保険事業状況報告月報)

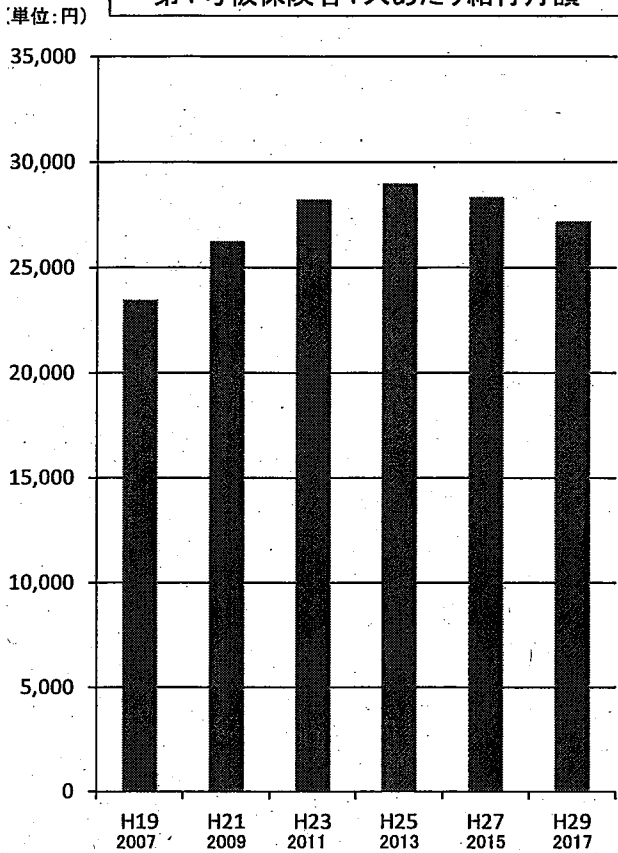
給付月額の推移(鳥取市、2007→2017)



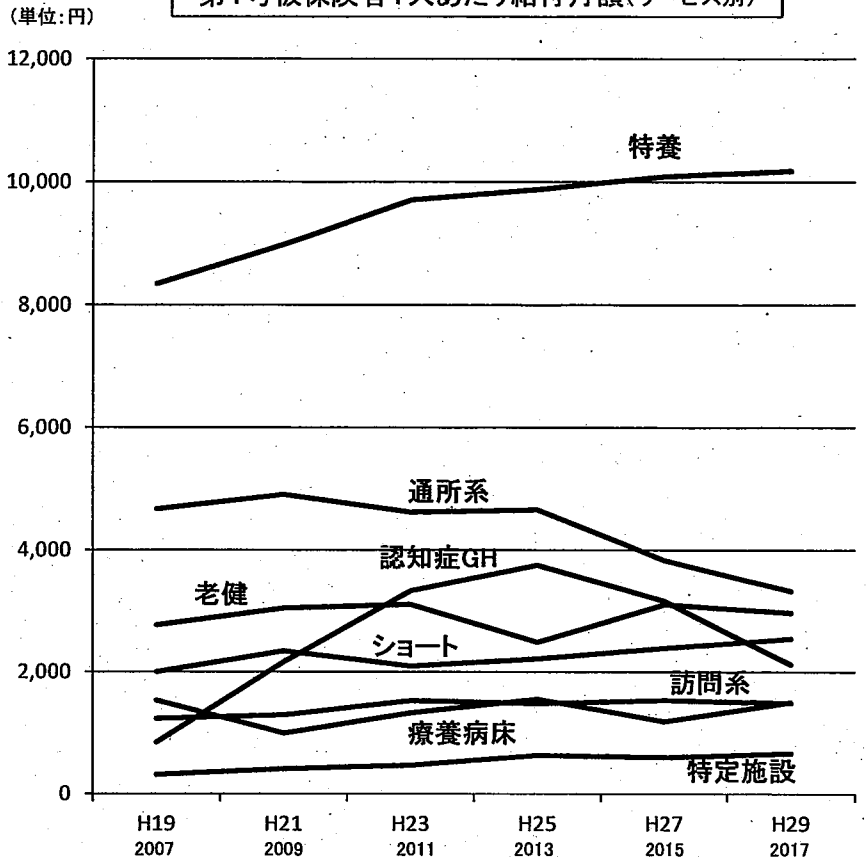
※介護保険事業状況報告年報(H29は介護保険事業状況報告月報)

給付月額推移 (日南町、2007→2017)

第1号被保険者1人あたり給付月額



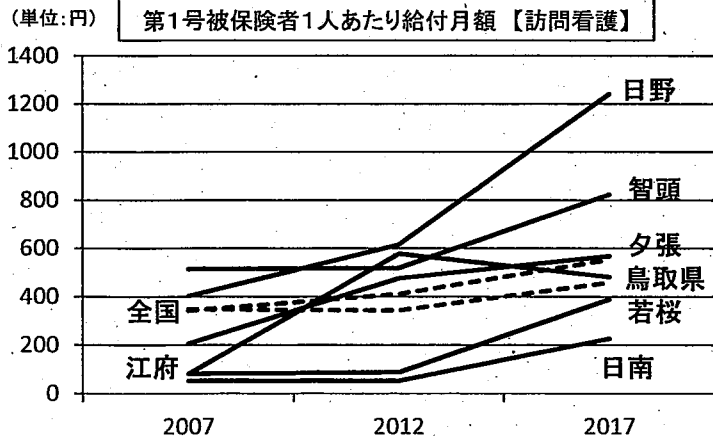
第1号被保険者1人あたり給付月額(サービス別)



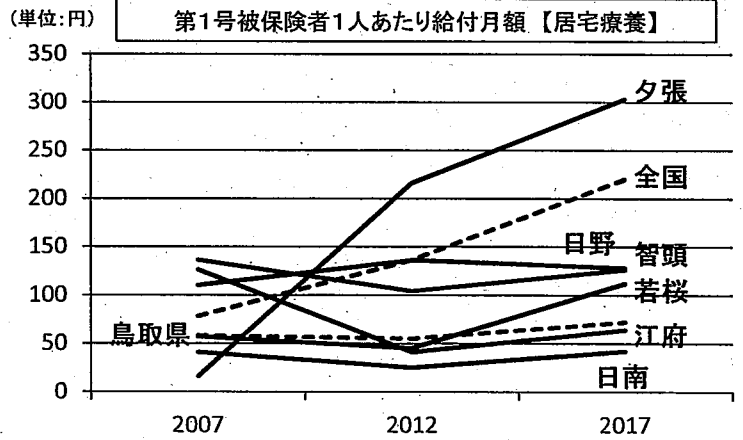
※介護保険事業状況報告年報(H29は介護保険事業状況報告月報)

給付月額推移 (サービス別、2007→2017)

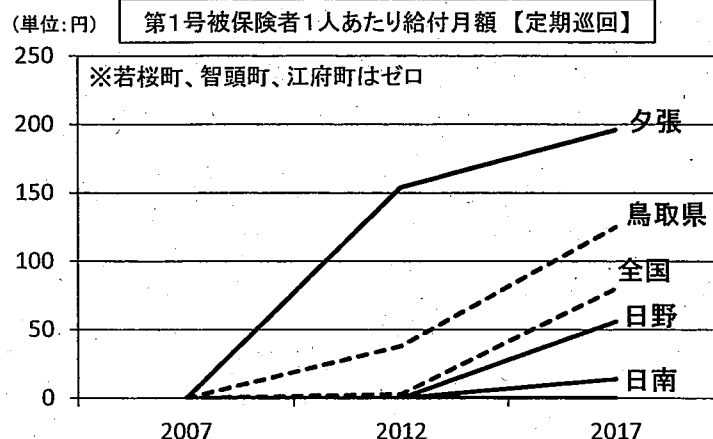
第1号被保険者1人あたり給付月額【訪問看護】



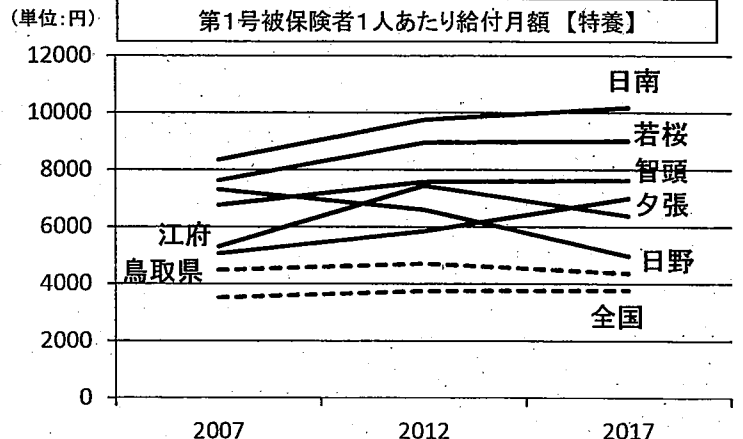
第1号被保険者1人あたり給付月額【居宅療養】



第1号被保険者1人あたり給付月額【定期巡回】

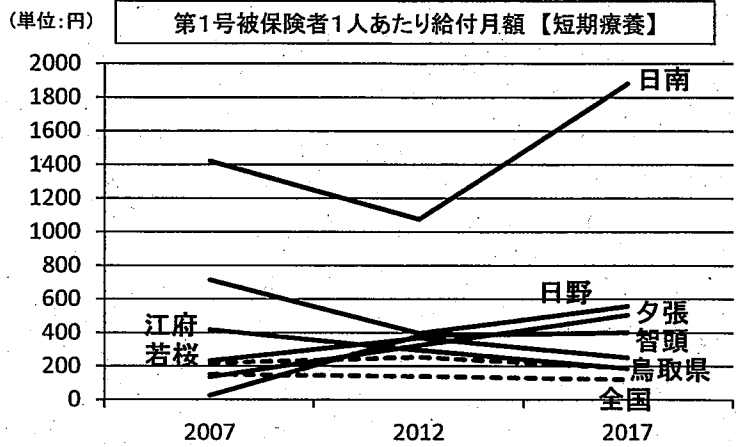
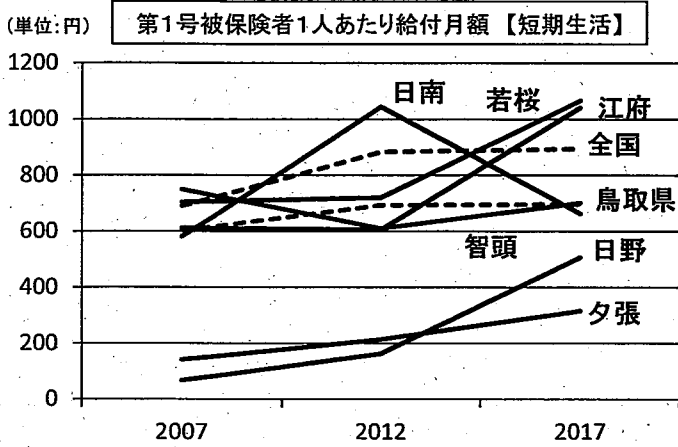
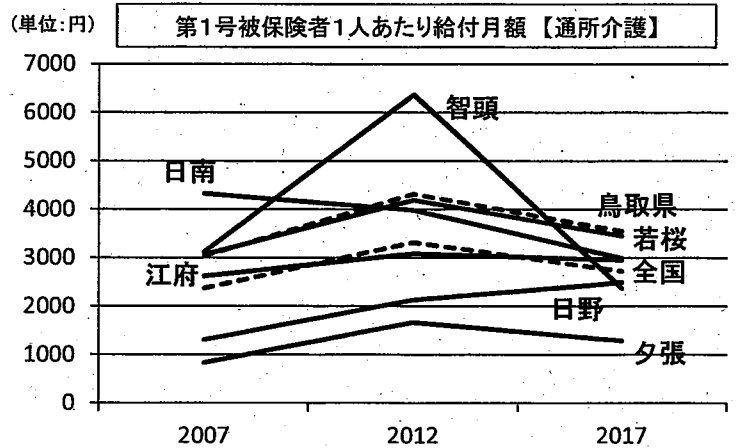
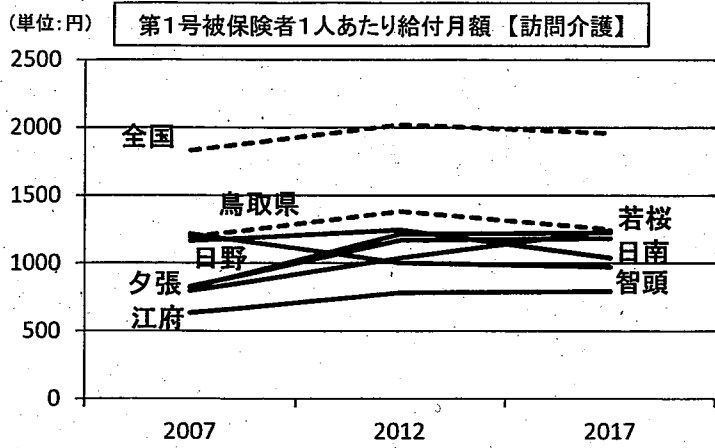


第1号被保険者1人あたり給付月額【特養】



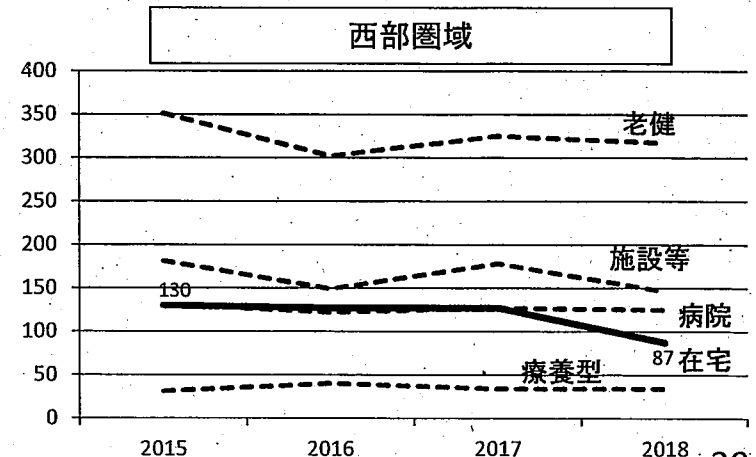
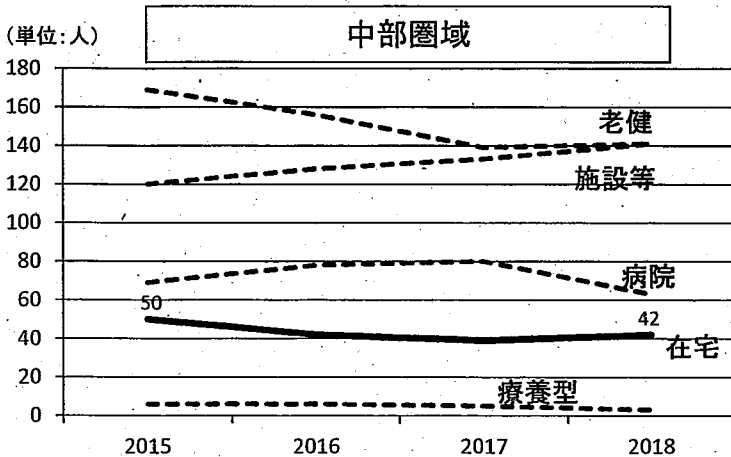
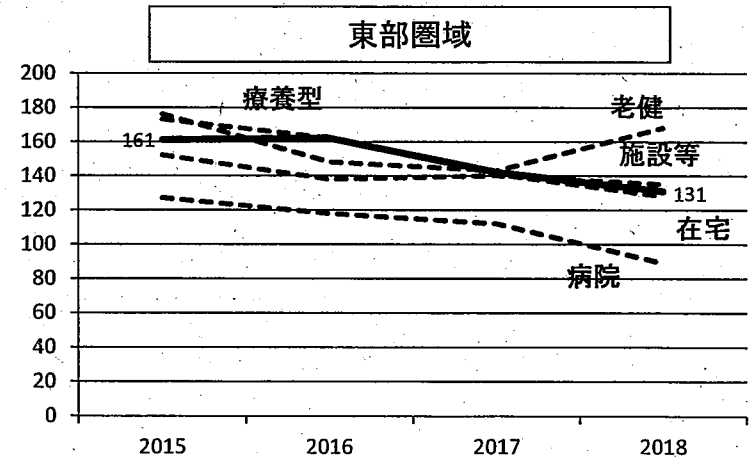
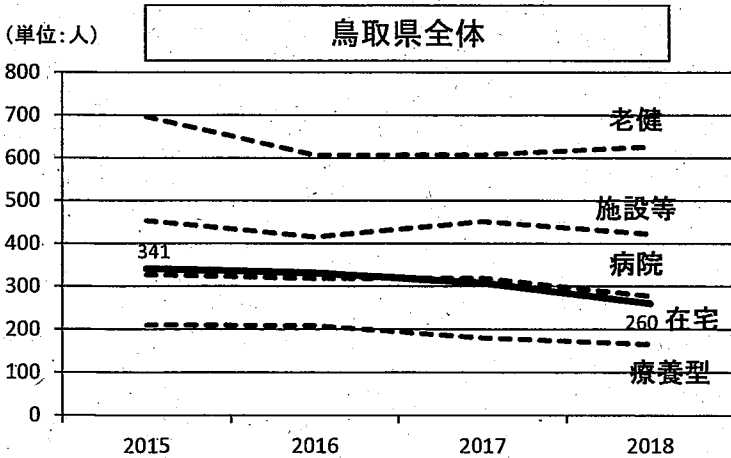
※介護保険事業状況報告年報(H29は介護保険事業状況報告月報)

給付月額額の推移(サービス別、2007→2017)



※介護保険事業状況報告年報(H29は介護保険事業状況報告月報)

特別養護老人ホーム待機場所(2015→2018)



※鳥取県特別養護老人ホーム入所申込者調査(各年度4月1日現在(2015年のみ8月1日))